

4 モザンビーク共和国

4-1 木材生産・流通状況

4-1-1 森林資源概要

モザンビーク共和国（以下、モザンビーク）は、アフリカ大陸南東部に位置し、東はインド洋に面し、北はタンザニア、北西はザンビア、西はマラウイ、ジンバブエ、スワジランドと国境を接し、南は南アフリカと接している。国土面積は79.9万km²（日本の約2倍）であり、FAOの森林資源評価（FRA）¹によると、2020年時点の森林総面積は、36,743,760ha、その内、植林地面積は74,269.12haと推定される。森林の約2,700万haが木材生産に適した生産林、1,300万haが保全地域に分類されている²。

モザンビークは、サハラ以南の国では高い森林被覆率を有す国の一つであるが、森林減少率も高く、2010年から2020年の期間は、年平均22.3万haの割合で森林が失われた（表4.1）。CEAGREとWinrock International（2016年）³は、モザンビークにおける森林減少の主な原因は農地の拡大であり、2000年から2012年の森林減少の原因の65%を占めていたと指摘する。その他の主な原因としては、都市の拡大（12%）、伐採（8%）、薪や木炭の生産（7%）が挙げられる。

表 4.1 森林面積の変化

年	1990	2000	2010	2015	2020
天然林 (1,000ha)	43,340.00	41,150.00	38,917.50	37,874.01	36,669.49
植林地 (1,000ha)	38.00	38.00	54.64	65.99	74.27
計 (1,000ha)	43,378.00	41,188.00	38,972.14	37,940.00	36,743.76

出典：FAO（2020）⁴

モザンビークの森林分布を図4.1に示す。主な森林生態系はミオンボ林で、森林面積の約3分の2を占めている。ミオンボ林は、モザンビークの貧困層の多くが存在するザンベジア州、ナンプラ州、カボ・デルガド州を含む北部のいくつかの州で主要な森林植生で、地域世帯の現金収入の約2割、非現金収入の約4割を支えていると推定される⁵。その他の森林植生には、南部の海岸林、中央部のアフロモンタン林、北部の海岸乾燥林など、国際的に

¹ FAO（2020）Global Forest Resources Assessment 2020: Report Mozambique, Rome

² MITADER（2017）R-Package Multi-stakeholder Self-Assessment of REDD+ Readiness in Mozambique

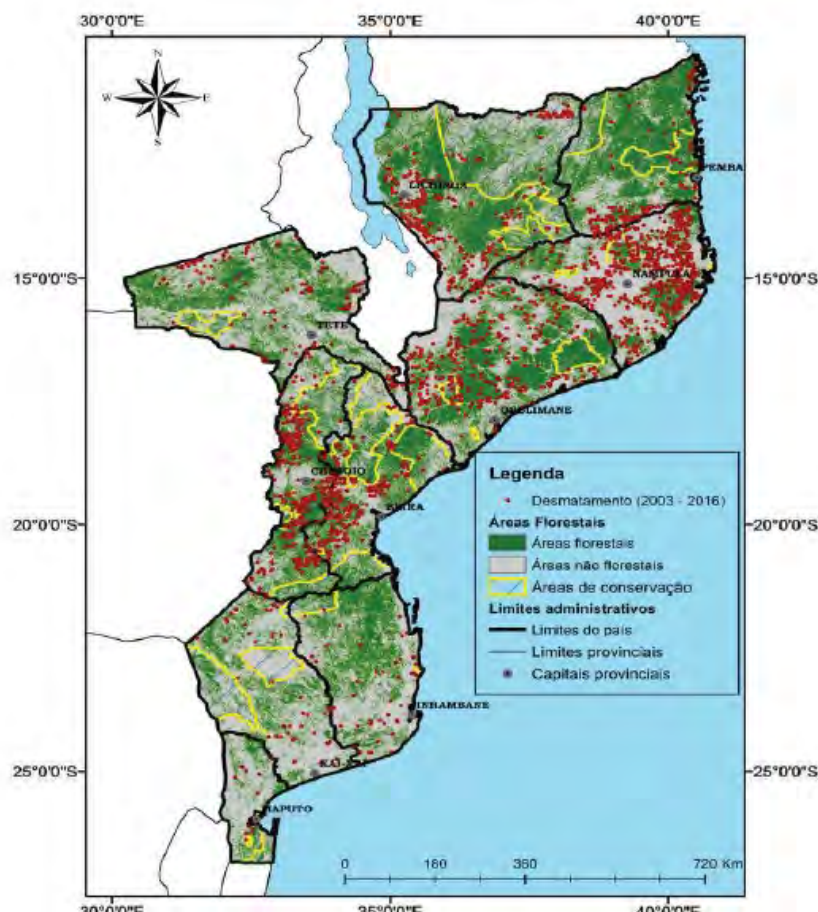
³ CEAGRE, & Winrock International（2016）Estudo sobre causas directas e indirectas do desmatamento e degradação florestal em Moçambique - Relatório final. In (p. 36 p). Maputo, Mozambique

⁴ FAO（2020）前掲

⁵ World Bank（2018）Mozambique Country Forest Note

生物多様性のホットスポットとして認められている森林や、アフリカで 2 番目に広いマンゴローブ林などを有す。

図 4.1 モザンビークの森林分布



注) 緑 (森林地域); 灰色 (非森林地域); 赤 (2003 年～2016 年の期間の森林減少地域)

出典: MITADER (2018)⁶

森林資源は、農村部の地域住民にとって重要な役割を果たす。モザンビーク憲法 (1990 年) によって、土地は国の所有物であると定められる。政府は、持続可能な農村開発を促進するための戦略の一環として、地域コミュニティが慣習的に所有、利用する土地の明確化を進めている。政府のテラ・セグーラ・プログラム (Terra Segura program) は、500 万の小区画を登録し、4000 のコミュニティの土地分割を目標としている⁷。2014 年の時点で、計 350 万ヘクタールの土地が 427 のコミュニティの管理下にある⁸。

⁶ MITADER (2018) Desflorestamento em Moçambique (2003-2016) MITADER. Maputo.

⁷ MITADER (2017) 前掲

⁸ World Bank(2018) 前掲

森林はモザンビークの成長と発展のための重要な資源と同時に、所得と雇用を生み出し、経済に大きく貢献している。2011年、森林セクターはモザンビークのGDPに約3億3,000万ドルを貢献し、2万2,000人を直接雇用し、また、2016年には、GDPに約13.7%の貢献をした⁹。

4-1-2 木材生産・流通の特徴

1) 木材の生産

モザンビークでは、119樹種が商業樹種とされており、5段階（貴重種、第1種～第4種）に分けられている（付属資料4.1）。その内、以下の6樹種が国内外のマーケットの需要から最も多く伐採されてきた：*Azelia quanzensis* (Chanfuta)、*Dalbergia melanoxylon* (Pau Preto)、*Milletia stuhlmannii* (Jambirre)、*Pterocarpus angolensis* (Umbila)、*Combretum imberbe* (Mondzo)、*Swartzia madagascariensis* (Pau Ferro)¹⁰。

モザンビークの森林は国が所有しており、天然林の商業用伐採は、資格を有する事業者が政府との契約のもと実施する。伐採制度は、大規模で長期的な事業である森林開発コンセッションと小規模で短期的なシンプルライセンスの2つに分かれる。シンプルライセンスを所持する事業者が大多数を占め、2017年は、624件のシンプルライセンスが発行され、コンセッションは193件であった¹¹。

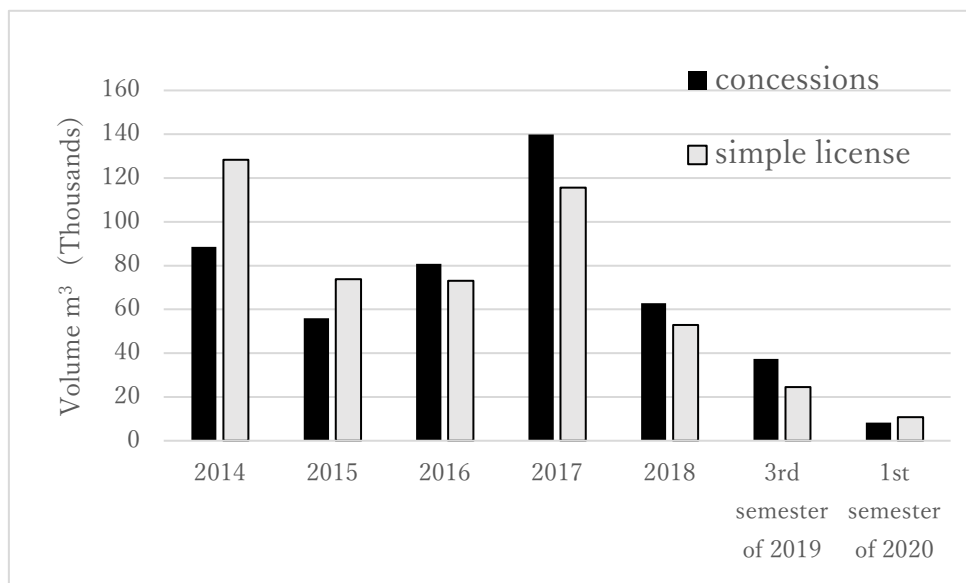
2020年にはDecreto nr. 25/2020によってコンセッションとシンプルライセンスの新規発行が停止され、現在はそれ以前に許可を受けた事業による伐採のみが実施される。

⁹ World Bank(2018) 前掲

¹⁰ Muianga & Norfolk (2017) Investimento Chinês no Sector Florestal Moçambicano. IIED Relatório do país. IIED, Londres. Outubro, 2017; Magalhães, T. (2018) Inventário florestal nacional. Relatório Final. Direção Nacional de Florestas. Ministério da Terra, Ambiente e Desenvolvimento Rural. Agosto 2018.

¹¹ World Bank(2018) 前掲

図 4.2 コンセッションとシンプルライセンス伐採許可量（2014 年～2017 年）



注) 黒色 (コンセッション); 灰色 (シンプルライセンス)

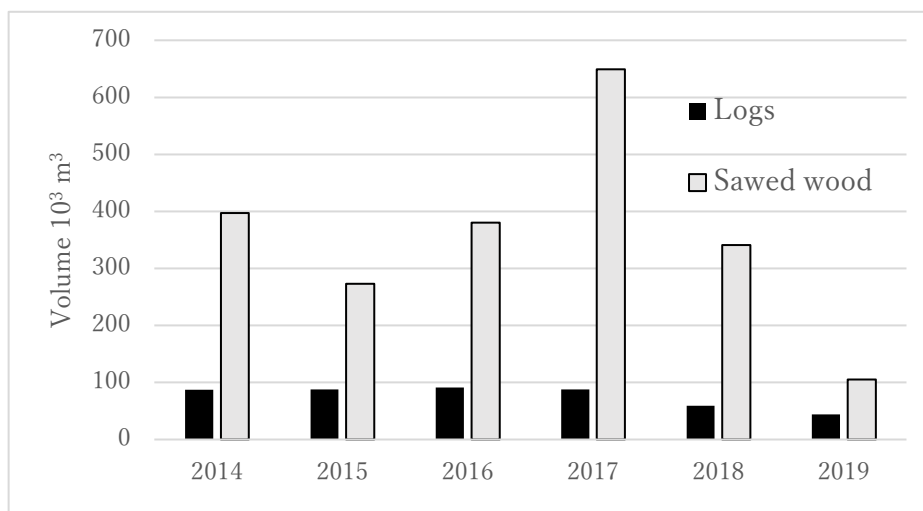
出典: DINAF(2017, 2018, 2019, 2020)¹²を基に作成

丸太と製材が主要な木材製品であるが、モザンビークでは、パーケットやベニヤ、合板も生産されており、政府は木材加工産業の促進を図っている。2017 年に製材生産量が大幅に増加したが (図 4.3)、これは、原木輸出の禁止 (Lei 14/2016) が実施されたことによると考えられる。モザンビークには、製材所や合板、ベニヤ、パーケット工場がどれくらい存在するか公式な情報はない。しかし、Muianga and Norfolk (2017) の調査では、160 以上の製材所が確認された。また、世界銀行 (2018) ¹³によると、モザンビークには約 200 の製材所があり、そのうち 47%は小規模の工場と推定される。

¹² DINAF (2017, 2018, 2019, 2020) Relatório Anual de Actividades: 2017; 2018; de Janeiro a Setembro 2019; do I Semestre 2020

¹³ World Bank(2018) 前掲

図 4.3 モザンビークの丸太と製材生産量（2014 年～2019 年）

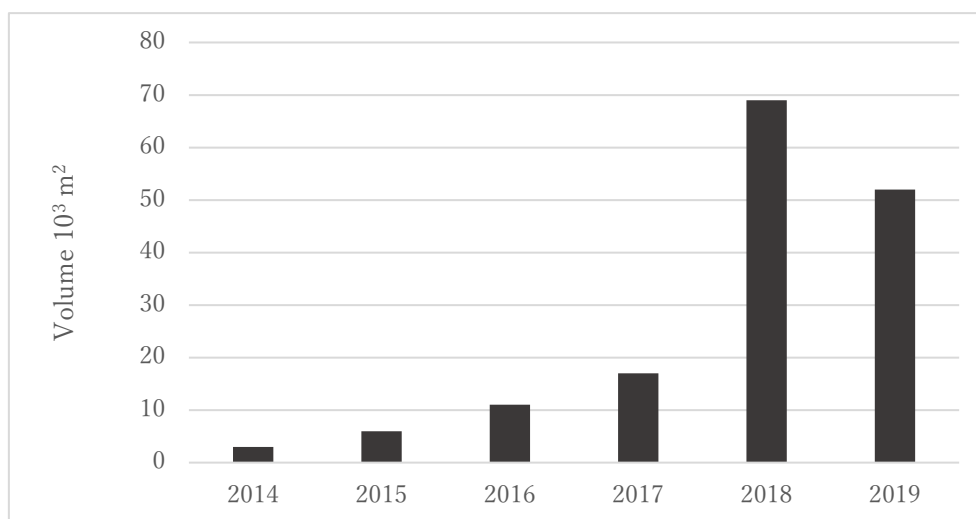


注) 黒色（丸太）；灰色（製材）

出典：国家統計院（INE）（2019, 2020）¹⁴

パーケットの生産量は継続的な伸びを示しており、2018 年には大幅に生産量が増加した（図 4.4）。

図 4.4 モザンビークのパーケット生産量（2014 年～2018 年）



出典：国家統計院（INE）（2019, 2020）¹⁵

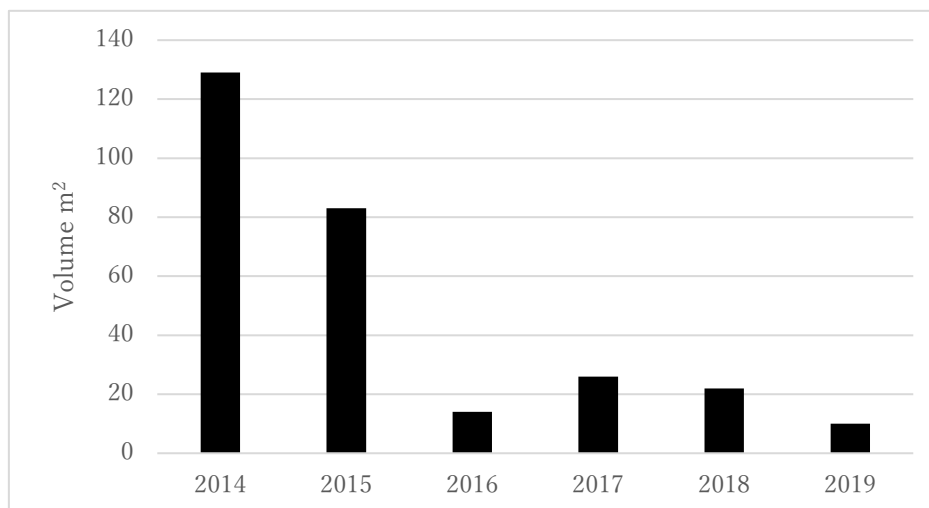
合板の生産量は 2014 年から 2016 年にかけて大幅に減少した。2016 年から 2017 年にか

¹⁴ INE (2019) Anuário Estatístico 2018. Statistical yearbook 2018. Instituto Nacional de estatística. 2019; INE (2020) Anuário Estatístico 2019. Statistical yearbook 2019. Instituto Nacional de estatística. 2020.

¹⁵ INE (2019) 前掲

けてやや増加傾向を示したが、それ以降は減少傾向にある（図 4.5）。

図 4.5 モザンビークの合板生産量（2014～2018 年）



出典：国家統計院（INE）（2019）¹⁶

2) 天然林由来の木材製品の輸出

表 4.2 に 2014 年から 2020 年までの木材製品タイプ毎の輸出量を示す。

表 4.2 木材製品の輸出量

木材製品	単位	2014	2015	2016	2017	2018	2019
丸太	m ³	147.517	148.093	187.747	87.579	0	19.395
製材	m ³	373.769	272.858	334.003	661.756	1.893.268,83	61.371
ボード	m ³	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	33.366
板材	m ³	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	6.440
柱	m ³	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	42
Crossbeams	m ³	1.092	806	847	148	31.273,55	24
Laths	m ³	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	4.334
家具の部品	m ³	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	91
パーケット	m ²	169	1.891	1.332	6.678	38.283.69	15.956
ベニヤ	m ²	129	97	29	26	7	N/A
パネル	N/A	N/A	N/A	N/A	3.160	0	N/A

出典：出典：DINAF(2017, 2018, 2019, 2020)¹⁷ を基に作成

¹⁶ INE (2019) 前掲

¹⁷ DINAF (2017, 2018, 2019, 2020) 前掲

木材の輸出額は2億米ドルを超え、年間GDPの約2%に相当する¹⁸。2015年から2017年までの期間に、木材製品の輸出による税収は平均2000万ドル/年であった¹⁹。FLEGT(2014)²⁰によると、ベイラ港(Beira)、ナカラ港(Nacala)、ペンバ港(Pemba)が木材の主な出港地である。

世界銀行(2018)²¹によると、モザンビークの木材輸出は中国向けによってほぼ独占され、特に*Dalbergia melanoxylon*(Pau Preto)、*Pterocarpus angolensis*(Umbila)、*Azelia quanzensis*(Chanfuta)、*Millettia stuhlmannii*(Jambire)が集中的に取り上げられている。図4.6及び図4.7が示すよう、2009年以降、丸太など木材(粗のもの)(HSコード4403類)と製材等の木材製品(HSコード4407類)の輸出が急激に増加した。2018年にはHSコード4403類の輸出総額(2.46億米ドル)のうち99%以上が、HSコード4407類(0.38億米ドル)の80%が対中国輸出であった²²。Egas等(2018)の調査によると、中国に輸出された木材は主に家具や床材に利用される²³。

さらに、中国の資本や企業はモザンビークで伐採から加工、輸出のサプライチェーン全体に関わっている。Muianga & Norfolk(2017)²⁴は、少なくともコンセッションの60事業は中国資本であると報告する。また、IIEDの報告書²⁵は、モザンビークで伐採と加工を実施する700社以上の事業者を特定し、これらのうち、200以上が中国資本であると推定する。

輸出に占める高い割合と資本の進出から、中国はモザンビークの森林資源利用と林業セクター対して重要な影響を持つことが考えられる。またモザンビークは、中国にとって重要な熱帯木材供給国であり、2014年から2018年の期間は、パプアニューギニア、ソロモン諸島、赤道ギニアに次いで量ベースで中国への熱帯丸太の供給国第4位であった²⁶。一方で、中国へ輸出される木材の違法性が指摘されており(4-1-4 違法伐採に関する関連情報)、

¹⁸ Agripro Ambiente (2019) Ordenamento territorial e valorização de perdas e benefícios. Apoio à formulação da Agenda Estratégica 2018-2035 e Programa Nacional de Florestas. 2019.

¹⁹ MITADER(2019) Forest Agenda 2035 and National Forest Program (Version after multi sectorial harmonization meeting)

²⁰ FLEGT (2014) Forest Governance and Timber Trade Flows Within, to and from Eastern and Southern African Countries. Mozambique Study

²¹ World Bank (2018) 前掲

²² 中国向け主要樹種として *Dalbergia melanoxylon*, *Pterocarpus angolensis*, *Azelia quanzensis*, *Millettia stuhlmannii* H が挙げられる。

²³ Egas, A F, Ren, P, Zhang, J, Júnior, E U, Bila, NF and Siteo, E C. (2018). Tackling discrepancies in timber trade data: comparing China and Mozambique. IIED Issue Paper. IIED, London

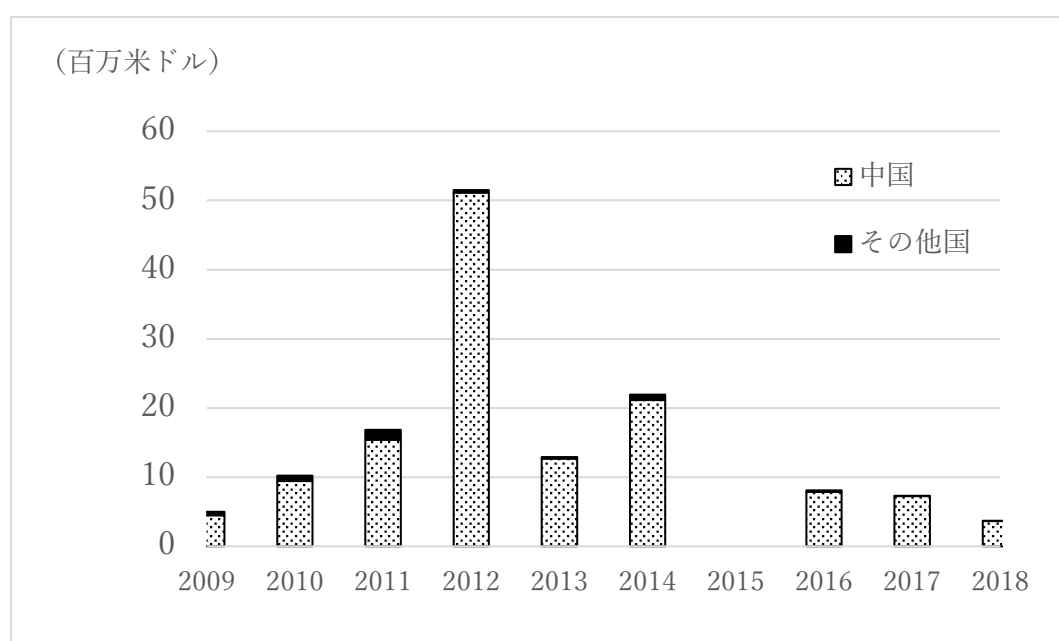
²⁴ Muianga, M. e Norfolk, S. (2017) Investimento Chinês no Sector Florestal Moçambicano. IIED Relatório do país. IIED, Londres. Outubro, 2017.

²⁵ Macqueen, D (ed.) (2018) China in Mozambique's forests: a review of issues and progress for livelihoods and sustainability. Research report. IIED, London.

²⁶ Oliver, L (2019) Statistical Overview: regional trade trends in the context of VPAs Presentation for APFW, Incheon, June 2019 Independent Market Monitoring (IMM)

2018年6月、モザンビークと中国は木材加工と貿易の促進を目的に覚書（MOU）を結んだ。覚書では、両国は、森林生産と貿易データに関する協力、木材加工業に対する中国・モザンビーク投資の誘致、中国・モザンビークの民間パートナーシップにおける持続可能な森林管理のためのインセンティブの創出、二国間の検証システムを通じた違法伐採対策に向けた協力を約束した²⁷。さらに、中国企業である Ghanzhou Feishang Supply Chain Management Company Limited と Shunjinyuan Africa Investment Company Limited とモザンビーク政府が所有する FUNDINVEST SA の3社は、森林セクターにおける長期的な戦略的協力関係を形成する合意を結んだ²⁸。協力合意には、家具サプライチェーンに関するモザンビークの技術者の育成や家具産業システムの確立などが含まれる。

図 4.6 HS コードの 4403 の輸出（中国とその他）の推移



注) 2015年データなし

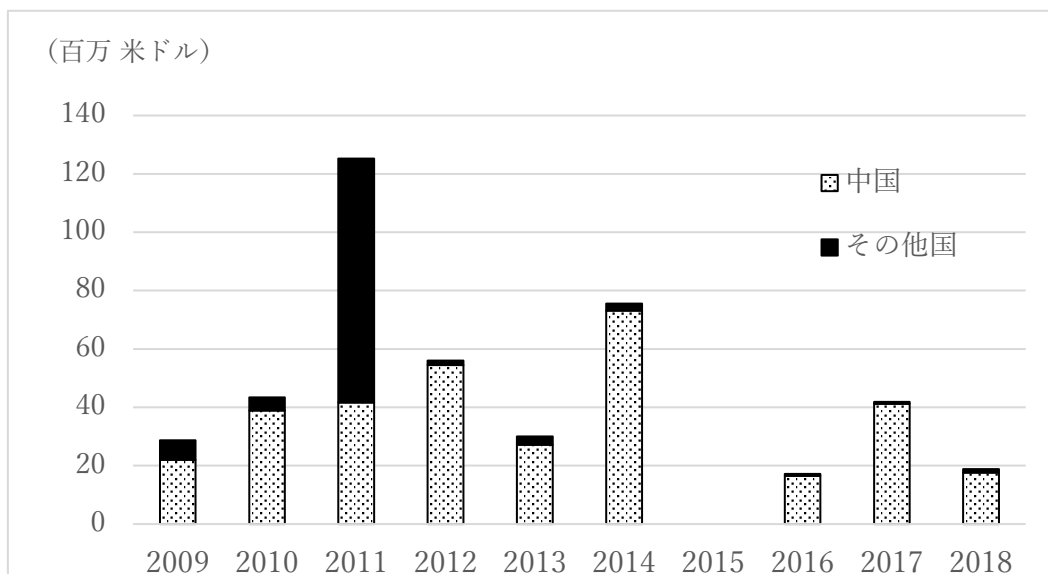
出典：UN COM Trade²⁹から作成

²⁷ IISD プレスリリース<<https://www.iied.org/crucial-agreement-china-creates-opportunity-protect-mozambiques-forests-report-says>>

²⁸ Macqueen, D (ed.) (2018) 前掲

²⁹ UN COM Trade <<https://comtrade.un.org/data/>>

図 4.7 HS コード 4407 類の輸出の推移（中国とその他国）



注) 2015 年データなし

出典：UN COM Trade³⁰から作成

3) 植林地からの木材生産と輸出

モザンビーク政府が 2009 年に策定した「森林再生戦略 (Estratégia para o Reflorestamento)」では、2030 年までに 100 万 ha の植林地を造成し、25 万人の雇用を創出するという目標が掲げられている³¹。同戦略は、森林再生のための民間投資を 100 万ドル呼び込み、また木材製品の輸出を通じて、少なくとも年間 15 億米ドルの収入を得ることも目標とする。

モザンビークでは、バイオマス燃料用の樹種としてユーカリが、産業用 (製材用) としてマツが植林され、植林地面積は増加傾向を示す (表 4.1)。しかしながら、植林地面積は 2020 年において 7.4 万 ha (森林面積全体の約 0.2%) であり、木材生産を目的とした産業造林はあまり成功しているとは言えない。ノルウェイ、フィンランド、ポルトガル等の会社が産業植林に投資を行ってきたがこれらの事業は順調ではない。世界銀行は、低い生産性と高い生産コスト、市場へのアクセス、そして不安定な土地利用権と地域コミュニティとの紛争等、産業造林を促進するための課題を指摘する³²。地域コミュニティとの土地権に関する問題から、モザンビークの複数の市民社会組織は、ノルウェイ資本の企業である Green Resources やポルトガル企業の Portucel 等とモザンビーク政府に対して、割り当てられてい

³⁰ UN COM Trade <<https://comtrade.un.org/data/>>

³¹ Direcção Nacional de Terras e Florestas (2009) Estratégia para o Reflorestamento, Maputo, Julho 2009, Ministério da Agricultura

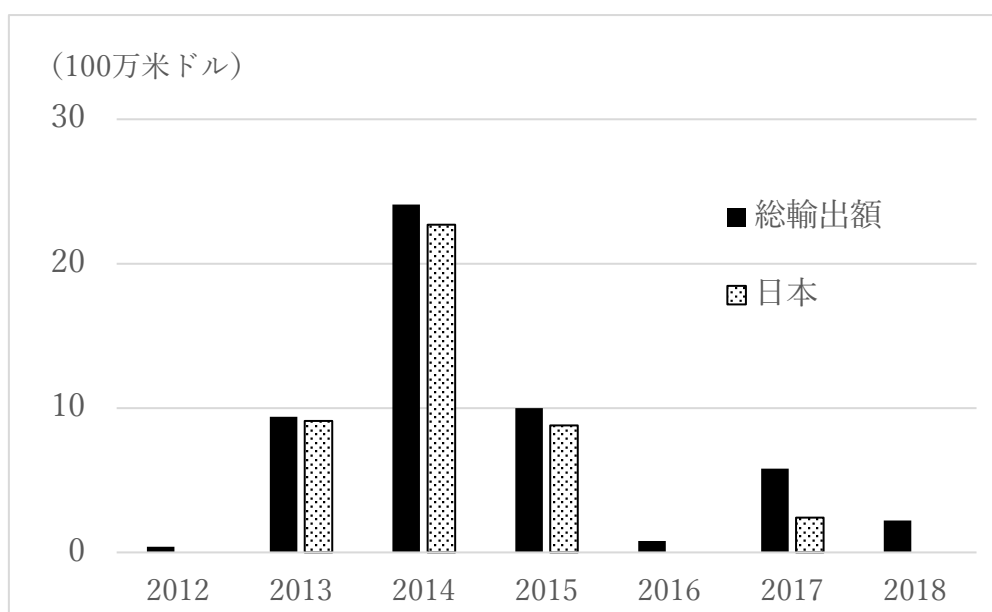
³² World Bank(2018) 前掲

た土地を地域コミュニティに譲渡するようキャンペーンを行っている³³。

現在、植林木のほとんどは国内消費に使われているが、今後、植林木の国内需要は急速に拡大すると予測されている。急成長する建設業や電力網の拡大に伴い送電線用の電柱や建設用木材の需要が伸びており、モザンビークにおける産業用丸太材（丸太）の消費量は、2014年の240万m³から2040年には630万m³に増加すると推測される³⁴。

なお、日本企業の双日株式会社は、モザンビークに Sojitz Maputo Cellulose, Limitada（SOMACEL 社）を設立し、南アフリカおよびエスワニティのユーカリやアカシアの植林地から原木を調達し、モザンビークに輸送し、木材チップを加工・製造を行っていた³⁵。このために図4.8の示すよう、日本への木材チップ輸出が行われた。しかしながら、この事業は現在実施されておらず、2018年以降日本へのチップ輸出は見られない。また、上述のポルトガル企業 Portucel の親会社である Navigator Group は、モザンビークに木材チップ工場建設を予定していたが、市場や工場建設の条件が整っていないことから建設を保留するという決定を2018年に行った³⁶。

図 4.8 木材パルプ・チップの輸出推移



出典： Research Trade Earth³⁷ から作成

³³ World Rainforest Movement <<https://wrm.org.uy/articles-from-the-wrm-bulletin/section1/green-resources-mozambique-more-false-promises/>>

³⁴ World Bank (2016) Republic of Mozambique: Improving the Business Climate for Planted Forests, Final report. Report No. ACS18952. World Bank. Washington, D.C

³⁵ 双日株式会社 <<https://www.sojitz.com/jp/news/2011/07/20110701.php>>

³⁶ Club of Mozambique <<https://clubofmozambique.com/news/navigator-freezes-factory-project-in-mozambique/>>

³⁷ Research Trade Earth

<<https://resourcetrade.earth/?year=2012&exporter=508&category=128&units=value&autozoom=1>>

4-1-3 森林認証システムの導入状況

モザンビーク政府は森林認証促進を方針に掲げており、2020年に承認された新たな「国家森林政策及び実施戦略（Política Florestal e Estratégia da sua Implementação）」では、国内の認証基準の導入が提案されている。

しかしながら、現時点では森林認証制度の活用は限られている。国内の認証制度は構築されておらず、PEFC認証制度はモザンビークではない。2021年1月時点において森林管理協議会（FSC）による認証が森林管理（3件）、管理木材（1件）、CoC（1件）という状況である（表4.3）。

表 4.3 モザンビークの FSC 森林管理・CoC 認証一覧

ライセンス番号	認証	事業者	認証林面積	有効期限
FSC-C005219	FM	LevasFlor, Lda	46240.00 ha	2022-04-09
FSC-C104756	CW、CoC	Mpingo Madeiras Lda.	-	2022-02-14
FSC-C107952	FM	Niassa Green Resources	4426.23 ha	2021-10-02
FSC-C154439	FM	Mpingo Madeiras Lda	67250.00 ha	2025-01-08

出典：FSC データベース³⁸を基に作成

4-1-4 違法伐採に関する関連情報

モザンビークでは、国際機関、研究機関、NGO、メディアによって違法木材のリスクについて指摘されており、政府も取締りと違法木材の押収について報告している。

FAO-EUのFLEGTプログラムによるレポート(2014)³⁹は、2011年の許可された伐採量、木材輸入量、木材輸出量、国内消費量を分析した結果、その年にモザンビークでは90万～220万m³の木材が違法に伐採され、伐採の79～92%が無許可であったと推定する。さらに、すべての貴重種と第1級樹種の伐採量が、許可された量を超えていたと報告する。

国際的な環境NGOであるEIA（Environmental Investigation Agency）が2014年に発表した調査報告書⁴⁰によれば、過去7年間におけるモザンビークで行われた森林伐採の81%は違法伐採であり、2013年においては、伐採の93%が違法であると推測される。同報告書は、更に2013年にモザンビークから中国に輸入された丸太516,296m³のうち46%は違法な取引によるものと指摘している。また、WWF（世界自然保護基金）とIUCN（国際自然保護連合）の共同事業として設立されTrafficは、2009年以降、モザンビークからタンザニ

³⁸ FSC <<https://info.fsc.org/certificate.php#result>>

³⁹ FLEGT (2014) 前掲

⁴⁰ EIA (2014) First Class Crisis: China's Criminal and Unsustainable Intervention in Mozambique's Miombo Forests, Environmental Investigation Agency UK Ltd

アへの天然木材の密輸が増加していると指摘する⁴¹。違法取引の量と市場について実態を把握することは難しいが、2011年には2,000m³の木材がタンザニアに輸出され、そのほとんどが違法木材であったと報告する。

森林資源と林業全般を管轄するモザンビーク政府機関である国家森林総局(DINAF)は、2015年と2018年に伐採事業の評価を実施した。この評価は、事業者の法制度遵守について評価し、持続可能な森林管理・利用を促進するための対策を提案することを目的とし、モザンビークの国立大学であるエドゥアルド・モンドラーネ大学(Universidade Eduardo Mondlane: UEM)が開発した評価ツールを基に、シンプルライセンスとコンセッションについて検査を実施した⁴²。2015年の評価では、特定された1081事業の内、905事業が検査を受けた(内訳:シンプルライセンス741事業;コンセッション165事業)。第2回目の評価(2018年)では、シンプルライセンス(782事業)、コンセッション(220事業)が対象となった。調査の結果、評価対象となったシンプルライセンス事業、コンセッション事業の多くが法遵守に問題があることが示された。伐採・搬出・運搬に必要な設備を有していないこと、技術者の配置が不十分なこと等、多くの事業者が承認された森林管理計画を実行する能力を持っていないことが判明した。さらに州政府が管理する事業者の情報はデジタル化されておらず、また情報が完全ではなく、統合されていない問題も指摘された⁴³。

モザンビーク政府は、林業セクターの改革の一環として2017年に違法木材の取締りと押収を目的に、カボ・デルガド州、ナンプラ州、ザンベジア州、テテ州、マニカ州、ソファラ州の6州で「Operação tronco」という取締りプログラム⁴⁴を実施した。取締りプログラムは、ベイラ港、ケリマネ港、ナカラ港、カボ・デルガド港も対象とし、223,376.42m³の丸太、18,293本の製材及びその他の木材製品の検査が実施された。取締りの結果、*Pterocarpus angolensis*(Umbila)、*Azelia africana*(Chanfuta)、*Libidibia ferrea*(Pau Ferro)、*Combretum imberbe*(Mondzo)、*Dalbergia melanoxylon*(Pau Preto)、*Pterocarpus tinctorius*(Nkula)、*Guibourtia conjugata*(Chacate Preto)等の丸太135,159m³、加工又は半加工材15,823m³が押収された⁴⁵。摘発された違反には、規定されたサイズ以下の樹木の伐採、承認された量を超過した伐採や木材の輸送、許可の無い伐採が含まれる。その結果、2,639件の違反に対して合計7億メティカル(約1,140万米ドル)の罰金が課せられ、330事業者が

⁴¹ Lukumbuzya, K. and Sianga, C. (2017) Overview of the Timber Trade in East and Southern Africa: National Perspectives and Regional Trade Linkages. TRAFFIC and WWF. Cambridge, UK. TRAFFIC.

⁴² Bila, A.; Egas, A.; Remane, I.; (2017) Avaliação dos operadores florestais em Moçambique: concessões florestais e licenças simples. 8º Congresso Luso-Moçambicano de Engenharia/ V Congresso de Engenharia de Moçambique. Maputo, 4-8 Setembro 2017, Ed: Silva Gomes, J.F. et al.

⁴³ MITADER (2019) Avaliação de operadores florestais em 2018 (Resumo para divulgação).

⁴⁴ MITADER <<https://www.mitader.gov.mz/press/governo-desencadeia-operacao-tronco-nas-provincias-de-cabo-delgado-nampula-zambezia-tete-manica-e-sofala/>>

⁴⁵ SMA (2017) Análise do impacto da reforma legal no sector florestal. Sheila de Menezes Advogados (SMA). IIED. Relatório do país. Outubro, 2017.

事業の停止処分となった⁴⁶。

表 4.4 に 2012 年から 2016 年の間の丸太の伐採許可量、輸送許可量、押収された量を取りまとめる。伐採許可量と輸送許可量の違いは、以下が理由として挙げられる：

- 伐採された全ての木材が丸太として輸送されるわけではなく、森林開発コンセッションでは、丸太は区域内の施設で加工され、製材等加工木材として輸送される。
- 伐採された丸太がすべて同じ年に輸送されるとは限らない（降雨による道路網の悪化や機械の故障等による）。

表 4.4. 丸太の伐採許可量、輸送許可量、押収量

年	伐採許可量 (m ³)	輸送許可量 (m ³)	押収材 (m ³)
2012	321,370	178,210	N/A
2013	212,711	102,588	1,542.20
2015	129,798	88,278	N/A
2016	169,425	N/A	42,616

出典：国家森林総局（DINAF）年間報告書を基に作成

押収された木材は、オークションで公売が可能である（森林・野生生物法第 45 条）。オークションで購入された木材は合法とみなされ、国内市場で消費、または輸出が可能となる。

大規模な違法木材摘発は、ニュースメディアによっても報告されている。2020 年 8 月に、カボ・デルガド州でモザンビーク企業と中国企業が所有する中国向けの 102 のコンテナが押収され、違法な取引に関与したとして、州政府や税関職員の計 9 人の公務員を逮捕したと報じ、また政治家の関与も指摘している⁴⁷。モザンビークでは原木輸出が禁止されているのも関わらず、78 のコンテナが丸太を積載していた⁴⁸。

隣国であるザンビアで伐採された木材がモザンビークに輸送され、中国に違法に輸出される問題もメディアによって報道された⁴⁹。ローズウッドなど中国で需要の高い樹種が他国で違法に伐採され、モザンビークに密輸、原木のまま中国に輸出される事例が指摘される。

⁴⁶ Portal do Governo de Moçambique <<https://www.portaldogoverno.gov.mz/por/Imprensa/Noticias/Operacao-tronco-MITADER-reitera-producao-de-800-mil-carteiras>>

⁴⁷ Moza24Horas <<https://en.moz24h.co.mz/post/contrabando-de-madeira-continua>>

⁴⁸ Club of Mozambique <<https://clubofmozambique.com/news/mozambique-over-100-containers-of-illegal-timber-seized-in-pemba-port-169029/>>

⁴⁹ Carta de Mozambique <<https://www.cartamz.com/index.php/politica/item/6439-carta-ao-leitor-mocambique-abraca-o-contrabando-transnacional-de-madeira>>

4-2 林業セクター法制度と行政の体制

4-2-1 法制度

1999年に策定された森林・野生生物政策が制度の基礎となっているが、2015年11月に森林セクターの改革プロセスが発表され、2018年から2019年の間に見直しが行われた。この結果、新たな「国家森林政策及び実施戦略（Política Florestal e Estratégia da sua Implementação）」を2020年2月に決定し（Resolução nr. 23/2020）、これに基づき森林・野生生物法及び関連法令の見直し等が行われると考えられる⁵⁰。

以下に、林業分野に関する近年の主な改正と政府の取組を示す：

- 2015年：新規シンプルライセンスとコンセッションの発行を2年間停止（Decreto nr. 40/2015）
- 2015年9月：WWFの働きかけにより、国境を越えた違法伐採取引の解決を図るため、モザンビーク、タンザニア、ケニア、ウガンダ、マダガスカルの各国森林担当局長レベルによる木材・木材製品の違法取引の撲滅に関する宣言書の署名
- 2015年と2018年：シンプルライセンスとコンセッションの評価（上述：4-1-4 違法伐採に関する関連情報）
- 2016年：*Swartzia madagascariensis*（Pau Ferro）の5年間の伐採の禁止（Diploma Ministerial nr.10/2016）
- 2016年：新たに設立された国立環境管理庁（AQUA）と国家検査局（Serviço Nacional de Fiscalização）への森林法執行権限の移管（進行中）（Decreto nr. 2/2016）
- 2016年～2017年：Operação troncoの実施：（上述：4-1-4 違法伐採に関する関連情報）
- 2017年：原木の輸出禁止と加工木材輸出法規則の改正（Lei nr. 14/2016及びDecreto nr. 42/2017）
- 2017年：加工木材の輸出を促進するために事業体FundInvestを土地・環境・農村開発省（MITADER）が設立
- 2017年：国有林インベントリの更新
- 2018年：2018年期間中の伐採又は輸出禁止の樹種を指定（後述：4-2-3, 2）保護地域及び樹種（2）保護樹種（Despacho nr. 29/3/18）
- 2018年：中国とのMoUの締結
- 2020年：新規伐採事業（シンプルライセンスとコンセッション）申請の一時停止（Decreto nr. 25/2020）

4-2-2 行政の体制

モザンビークでは、2020年の第2次ニュシ政権発足に伴う省庁再編が行われた。表4.5

⁵⁰ 国際協力機構（JICA）専門家へのインタビュー

に 2020 年 12 月時点における国レベルの森林管理・伐採に関連する省庁、行政機関を示す。森林資源を所管するのは、省庁再編で土地・環境・農村開発省（MITADER）から新たに設立された土地・環境省（MTA）の組織である国家森林総局（DINAF）である。MTA のうち森林犯罪取締は国家環境品質管理機関（AQUA）が行う。また、ニアッサ特別保護区、リンポポ国立公園などの国家保護区や特別保護区の管理は保全地域国家管理庁（ANAC）が所管する。植林を所管する部署は MTA ではなく農業・農村開発省（MADER）の国家農業・林業総局（Direcção Nacional de Agricultura e Silvicultura）である⁵¹。

表 4.5 モザンビークの林業セクター（伐採、加工、貿易）に係る政府機関

組織名	森林分野に関する役割と責任
土地・環境省（MTA）	<ul style="list-style-type: none"> 森林分野の法令、戦略、政策、規則や手順の提案、作成と導入 年間輸出計画の承認 加工木材の税率を決定 木材輸出の監督 森林・野生生物インベントリおよび管理計画を策定するための森林コンサルタントの認定
産業貿易省(MIC)	<ul style="list-style-type: none"> 貿易事業者の登録 財政証明書の発行
経済・財務省（MEF）及び税務局	<ul style="list-style-type: none"> コンテナ・梱包の手続き 輸出許可証の発行 木材輸出の監督
国家森林総局（DINAF）	<ul style="list-style-type: none"> MTA の機関 森林資源の持続的管理に係る規則や手順を策定 森林資源利用に係るライセンス発行、監督、管理、モニタリングを担当 林業活動のモニタリング 木材輸出の許可
国家環境品質管理機関：（AQUA）	<ul style="list-style-type: none"> MTA の機関 森林犯罪取締（森林管理・伐採、輸送、輸出）を担当

モザンビークの地方行政は、10 州と首都（州に相当）に分かれ、各州には、州土地・環境・農村開発局（Direcção Provincial de Terra, Ambiente e Desenvolvimento Rural: DPTADER）とその下に州森林・野生生物サービス（Serviços Provinciais de Florestas e Fauna

⁵¹ 農業・農村開発省（MADER）<<https://www.agricultura.gov.mz/institucional/ministerio/estrutura-organica/direccao-nacional-da-agricultura-e-silvicultura/>>

Bravia: SPFFB)⁵² が設置され、SPFFB が以下のような州レベルの森林業務を管轄していた：

- 森林管理計画の審査
- 伐採ライセンスの発行
- 木材輸送許可証の発行
- 検査所での輸送木材検査
- 木材加工場の登録
- 木材製品の検査と植物検疫証明書の発行
- 輸出コンテナ梱包の監督.
- 輸出許可証の発行

しかし、2019年10月のモザンビーク大統領選挙後に地方行政・組織の枠組みも改変が行われ、州レベルにおける森林行政体制に関して変更が図られる。選挙で選ばれる州知事に加えて、各州には、国の機能を遂行することを責務とする州国務長官 (Secretário de Estado na Província) を大統領が任命し、その下には州環境サービス (Serviço Provincial do Ambiente : SPA) が新たに設置された (Decreto nr. 63/2020)。また DPTADER は、州土地開発・環境局 (Direcção Provincial de Desenvolvimento Territorial e Ambiente: DPDTA) と変更され、州知事の下に置かれる。

これまでは、SPFFB が州レベルの森林行政を担当していた。しかしながら、Decreto nr. 63/2020 によると、あらたに設立された州国務長官の下の SPA が伐採、木材製品の輸送及び輸出の許可と関連文書準備を含む州レベルの森林関連業務全般を担うことになる⁵³。

州の下郡レベルでは、郡社会経済活動サービス (SDAE) が普及活動などを実施する。

⁵² SPEEB は、SPFF または SPF と呼ばれる場合もある。

⁵³ 国家森林総局 (DINAF) スタッフへのインタビュー

4-3 伐採制度

4-3-1 法令の概要と運用状況

表 4.6 に森林管理・伐採に係る法令、規則等を取りまとめる。

表 4.6 森林伐採に係る法令

法令／法令番号	制定年	説明
森林・野生生物法 (Lei nr.10/99.)	1999 年 7 月 7 日	森林と野生生物資源の保護、保全、持続可能な利用に関する基本的な原則と規範を定める。森林の伐採制度、流通について規定する。
森林・野生生物規則 (Decreto nr.12/2002)	2002 年 7 月 6 日	森林・野生生物法の実施規則
Despacho de Regulamento da Lei nr. 10/99. BR 12/2004 Série I	2004 年 3 月 24 日	森林および野生生物資源のインベントリ作成およびコンサルタントについて規定する
Decreto nr. 76/2011 da Lei nr. 10/99. BR 52/2011 Series I)	2011 年 12 月 20 日	森林・野生生物法規則で定められた罰金更新を規定する
Decreto nr. 30/2012. BR 31/2012 Series I	2012 年 8 月 1 日	シンプルライセンスと植林地開発に関する要件と条件を定め、植林地開発のインセンティブを規定する
Diploma Ministerial nr. 293/2012	2012 年 11 月 7 日	森林・野生生物法規則で定められた、森林や野生生物の資源へのアクセスや利用、国立公園や保護区での観光料金を更新する
Diploma Ministerial nr. 16/2017	2017 年 2 月 8 日	森林伐採と輸送に関する書類の様式を更新する

いくつかの研究⁵⁴は、法制度の実施が十分でないこと、とくに地域間で実施に一貫性がないことを指摘する。その原因として州・群によっては、法律や手続きに関する知識が十分でないこと、森林管理に必要な資源が不足していること、技術的な知識を持つ職員の数や彼らの移動手段が限られていることなどが挙げられる。行政による取締りは、主に道路上に設置された検査所での輸送される木材の検査による。伐採事業の数と広大な面積、そして人材・予算・必要手段等の不足から、伐採現場における監督がほとんど行われないという状況

⁵⁴ Aquino et al (2017a) 前掲; Bila, A. (2005) Estratégia para a fiscalização participativa de florestas e fauna bravia em Moçambique. DBFFB/FAO. Janeiro 2005; Muianga, M. e Norfolk, S. (2017) 前掲; SMA (2017) 前掲; UEM (2013) Avaliação do desempenho das concessões florestais em Moçambique. Universidade Eduardo Mondlane (UEM). DNTF/MINAG. Maio, 2013.

が指摘される⁵⁵。

4-3-2 伐採に関する許認可制度の状況及び許可証等の法令に基づく書類の概要

1) 伐採制度

森林・野生生物法（1999年）と森林・野生生物規則（2002年）により、森林管理と木材生産に関する制度が定められる。森林・野生生物法は、森林を国の所有権の下に置き、長期かつ大規模の伐採権（森林開発コンセッション）と短期かつ短期間の伐採権（シンプルライセンス）を規定する。この2つの伐採権は天然林の択伐である。また植林地は、国土保全用植林、エネルギー植林、産業植林の3種類に区分される。

閣議は毎年、森林資源の持続可能な管理を保証するために、森林インベントリに基づき、各州で伐採される木材の割当量を樹種別に決定する。

在来樹種の伐採（森林開発コンセッションとシンプルライセンス）には、毎年1月1日から3月31日までの閉鎖期間が設けられ、その期間中は、丸太の伐採と伐採地から集材所までの搬出が禁止となる。

なお、2020年にはDecreto nr. 25/2020によってコンセッションとシンプルライセンスの新規発行が停止され、現在はそれ以前に許可を受けた事業による伐採のみが実施される。

(1) 森林開発コンセッション

森林開発コンセッションは、モザンビークと海外の個人・法人が取得できる。コンセッションの期限は、最長50年間、更新可能となっている。森林開発コンセッションの承認はその事業規模によって州知事（20,000 haを上限とする事業）⁵⁶、土地・環境大臣（20,000～100,000 haの事業）、閣議（100,000 ha以上の事業）に分かれる（森林・野生生物規則第26条）。

コンセッション事業では、事業者は以下の基準を満たす木材の加工施設を有することが義務付けられる（Diploma Ministerial nr. 54/2018）：

- 投資額：750万メティカル（約100万円相当）以上
- 設置電力：10 KVA以上
- 労働者：20人以上
- 1日あたりの生産量：5m³以上
- 原料置き場
- 最低限の稼働可能な木材加工用機械（切断用鋸1台、面取り機1台、平行ガイド1台、鋸目立て機1台）

⁵⁵ 井上(2017) REDD+ランドスケープアプローチとモザンビーク土地法のレジリエンス，博士論文，東京大学

⁵⁶ ただし、Decreto nr. 63/2020により、この責務は州国務長官によって実施されるものと考えられる（国家森林総局（DINAF）スタッフへのインタビュー）。

森林開発コンセッション契約を締結し、1年間の伐採ライセンス(Licença de Exploração Florestal) (付属資料 4.2) を取得した事業者は、承認された森林管理計画に基づき伐採を行う。以下に、申請から伐採、木材の輸送までのプロセスを記す⁵⁷：

1. 申請者による準備
 - 対象地域のマッピング
 - 森林インベントリの作成
 - 事業実現に必要な手段の特定と技術・加工能力の構築
 - 対象地域のステークホルダーの特定と地域コミュニティへのコンサルテーション
2. SPA による書類検査
3. SPA による技術検査
4. SPA によるプロセスの承認
5. コンサルタントによる森林管理計画書の作成
6. SPA による森林管理計画の書類審査
7. 州国務長官による承認
8. DINAF による管理計画の評価と最終承認
9. コンセッション契約の締結
10. 面積に応じた森林コンセッション料（毎年）の支払い
11. SPA による加工施設と社会インフラの検査
12. 事業者による伐採ブロックの設定
13. 年間伐採量に応じた伐採料の支払い
14. 年間伐採ライセンスの発行

森林インベントリと森林管理計画は、土地・環境省 (MTA) から認定を受けた国内または海外のコンサルタントによって作成される。森林開発コンセッションの管理計画には、樹種、年間伐採量、製品タイプ、加工・産業に関する計画、マーケット、林業機械、生産コスト等の情報が含まれる。環境影響評価 (EIA) は要件ではないが、管理計画には環境への影響とその対策に関する情報が含まれる。また、コンセッション地域のマッピングは必要であるが、伐採対象樹木の詳細な位置情報は求められない。

作成された森林管理計画は、SPA によって審査され、対象地域のその他土地利用許可との重複の有無、伐採の可能性、申請者の適性と事業運営能力、木材加工能力など確認される。対象地域がその他の有効な土地利用許可と重複していない場合、その証明書 (Certidão Negativa) が発行される (付属資料 4.3)。書類審査のあとに、技術的検査が行われ、森林

⁵⁷ 以前は、州レベルにおける検査と承認は SPFFB が実施していたが、Decreto nr. 63/2020 によってこれらの責務は SPA が実施することになる (国家森林総局 (DINAF) スタッフへのインタビュー)。

蓄積量、提案された伐採量を達成する可能性、森林植生等が確認される。検査が終了すると、SPA による承認書が州国務長官を介し、国家森林総局（DINAF）に送付され、コンセッションの契約が締結される。

森林開発コンセッションの契約書には以下の内容が示される：

- 伐採する樹種
- 契約期間
- 地域社会の共同参加と利益（地域社会との信頼性の高い協議を確保し、利権契約の期間中、地域社会の参加を確保する）。
- 契約者（事業者）による活動の管理及び監視メカニズム
- 契約開始最初の 5 年間の樹種毎の伐採上限量
- 加工施設と必要インフラ（例：伐採キャンプ）の計画

契約締結後に、コンセッション事業者は、年間の伐採ライセンスの申請を行う。ライセンスの取得には、事業者は、SPA による木材加工施設と社会インフラの検査を受け、年間のコンセッション料と伐採料を支払い、森林管理計画に基づき現場に伐採ブロックを設置する必要がある。さらに、コンセッション事業者は、政府に許可された検査官の雇用⁵⁸が必要とされる。また、労働者を募集するときは、地域コミュニティの住人を優先すること、そして地域コミュニティの自家消費のための当該地域の天然資源の利用を許可することが義務付けられる（森林・野生生物法第 32 条）。

（法令遵守リスクに関する情報）

UEM (2013)⁵⁹が行った森林開発コンセッションの調査では、対象とした 26 コンセッション事業において森林管理計画が承認される前に、事業者が伐採を開始していたことが判明した。また、UEM (2013) と Magalhães (2014)⁶⁰は、適切な伐採ブロックを設計するための明確かつ体系的な基準が定められていないこと、そして実際にはコンセッションの多くが現場で伐採ブロックを設けずに施行を行っている指摘する。

（2）シンプルライセンス

コンセッションが海外の個人・法人も対象とするのに対し、シンプルライセンスはモザンビーク国籍を有する事業者（個人）または有効な商業登録を行った会社のみが取得できる。シンプルライセンスの契約書は州知事が署名する⁶¹（森林・野生生物規則第 17 条）（付属資

⁵⁸ 検査官は、事業者が法と森林管理計画に従い伐採活動を実施しているか監視し、指導することを目的とする。

⁵⁹ UEM (2013) 前掲

⁶⁰ Magalhães, T. (2014) *Análise do Sistema de Exploração dos Recursos Florestais em Moçambique*. Justiça ambiental. Novembro 2014.

⁶¹ ただし、Decreto nr. 63/2020 により、この責務は州国務長官によって実施されるものと考えられる（国家森林総局（DINAF）スタッフへのインタビュー）。

料 4.4.)。契約期間は 5 年以内（更新可能）で、10,000 ha を超えない面積で実施され、年間木材伐採量の上限は 500m³/年である。伐採事業者は、簡易管理計画を作成し、年ごとに伐採料の支払いが必要とされる。

シンプルライセンスの契約書には以下の内容が含まれる：

- 樹種毎の伐採量
- 樹種毎の年間伐採上限量
- 伐採、搬出、輸送に必要な手段を事業者が所有する証拠
- 契約期間
- 地域コミュニティの参加と利益
- ライセンスの対象となる地域での活動の管理及び監視メカニズム

事業者がシンプルライセンスによって伐採した木材の加工を行うためには、自前の加工施設・必要なインフラストラクチャー、または認可を受けた第三者との加工契約を提示しなければならない。シンプルライセンスによる木材を手作業やチェーンソーで加工することは認められていない。

Decreto nr 30/2012 は、シンプルライセンスに関する要件を定め、簡易管理計画を作成する際の技術基準と要件を示している。管理計画には、その地域の主要な樹種を対象とした森林インベントリ、伐採推定量、品質、性質、年間平均伐採量、使用する機械的手段の情報が含まれる。シンプルライセンスでは、森林管理計画や環境・社会的配慮についてコンセプションに比べてあまり厳しい要件は設定されていない。

（法令遵守リスクに関する情報）

FLEGT (2014) ⁶²は、申請者が必要最低限の基準を満たしていないにもかかわらず、多くのシンプルライセンスが発行されており、これらのライセンスは、その後、他の事業者に売却されると報告する。同報告書は、シンプルライセンス取得者の中には経験と技術を持つ伐採事業者もいるが、経済的利益に惹かれて新規に参入した他分野の事業者の低い技術力について指摘する ⁶³。また、Muianga & Norfolk (2017) ⁶⁴は、法律で定められた面積の 6 倍以上の許可が発行された事例を報告する。

（3）植林地

産業造林の許可をはじめ、産業・農業開発等の許可を取得するには、土地利用権（Direito de Uso e Aproveitamento de Terra: DUAT）の取得が必要となる。DUAT は森林開発コン

⁶² FLEGT (2014) 前掲

⁶³ 2001 年の取引価格は、樹種にもよるが 150~300 米ドル/m³（Pau Ferro と Chanate は、500~550 米ドル/m³）であった。

⁶⁴ Muianga & Norfolk(2017) 前掲

セッションとシンプルライセンスの申請には必要とされない。森林・野生生物規則により造林の適格性基準が制定され、国土・環境保全目的の植林、バイオマスエネルギーを目的とした植林、産業植林のそれぞれに分けて基準が設定された。森林・野生生物法によると、DUATの所有者は、自家消費の場合を除き、それぞれの地域に存在する自然の森林や野生生物資源を利用するためのライセンスが必要となる。DUATは、保護区の全域と部分的な保護区を除いて、ほぼ全域で取得することが可能とされる。対象面積によって州知事（1,000ha以下）⁶⁵、農業大臣（1,000～10,000 ha）⁶⁶、閣議（10,000ha以上）がそれぞれ発行する（Decreto nr. 30/2012）。

DUATの下、造林許可は、モザンビーク国内の法人や個人、地域コミュニティ社会が取得できる。外国の法人（モザンビークで設立または登記されている）や個人（モザンビークに5年以上居住している）も、承認された投資プロジェクトがあれば、DUATを取得することが可能である。外来樹種の植林の場合には、さらに許可を得る必要がある。産業植林を申請するためには、DUATの取得、環境影響評価（EIA）の実施、投資プロジェクト許可の3つの要件を満たすことが必要となる。

商業目的、工業目的、エネルギー目的での森林や野生生物の利用には、利用地域内の第三者のすべての権利を保護しなければならない、また、利用地域内の地域社会が生活に必要な天然資源を利用する権利を含めて、自由にアクセスできるようにしなければならない。

森林・野生動物規則（第38条）に従い、植林地の伐採については、所有者はSPAに対して申請を行う必要がある。その際には、植林地のライセンス番号、伐採対象の樹種種及び量、伐採期間、木材の保管場所を示さなければならない。SPAは申請内容の査察を実施し、開発許可を交付する。許可証には、遵守しなければならない条件、並びに開発から生じる廃棄物の処理方法が含まれる。

2) 保護地域及び樹種

(1) 保護地域

国立公園と保護区は完全に保護された地域であり、科学的な理由や管理上の必要性がある場合を除き、伐採は禁止されている。保護地域面積は約1300万haに達し⁶⁷、ANACが監督する。森林・野生生物法規則では、保護地域（国立公園、保護区や、また後述の歴史・文化的利用と価値のある地域）での例外的な伐採等の活動は、法律に基づく環境ライセンスが必要となると定めている。また、土地法は、“部分的な保護地域⁶⁸”を規定し、そこでの活

⁶⁵ ただし、Decreto nr. 63/2020により、この責務は州公務長官によって実施されるものと考えられる（国家森林総局（DINAF）スタッフへのインタビュー）。

⁶⁶ 省庁編成により、2021年2月では農業・農村大臣（Ministro da Agricultura e Desenvolvimento Rural）となっている<<https://www.agricultura.gov.mz/>>。

⁶⁷ MITADER（2017）前掲

⁶⁸ 以下の地域が含まれる：水源から100メートルまでの土地；ダムや貯水池から250メートルまでの土地；鉄道路線と沿線駅の両側50メートルの土地；高速道路、4車線道路及び、電気、通信、石油、ガス、水道のための施設と導管

動には、責任当局からの特別な許可を受けなければならないと定める。

(2) 保護樹種

Swartzia madagascariensis (Pau Ferro) は、2016年に5年の期限付きで輸出禁止樹種に指定された (Diploma Ministerial nr. 10/2016.)。期限終了後には評価が行われ、禁輸の終了または継続が決定される。また2018年の期間中、*Pterocarpus tinctorius* (Nkula) と *Combretum imberbe* (Mondzo) の伐採が禁止され、さらに *Azelia quanzensis* (Chanfuta)、*Pterocarpus angolensis* (Umbila)、*Milletia sthulmanni* (Jambirre) を使った木材の輸出が禁止された (Despacho Ministerial nr. 29/3/2018)。

(3) ワシントン条約

モザンビークは1981年にワシントン条約に加盟し、批准した。ワシントン条約の管理当局は土地・環境省 (MTA) の National Administration of the Conservation Areas であり、科学当局はエドゥアルド・モンドラーネ大学 (UEM) である。

モザンビークには110のCITES種が存在するが、商業用木材として利用されているものではなく、園芸や食料源としての利用が一般的である⁶⁹。*Prunus Africana* は附属書II⁷⁰に掲載されているが、主に薬用として利用されている。他に *Diospyros vera* も附属書IIに掲載されている。2019年には周辺国と連携し、*Pterocarpus tinctorius* (Nkula) をワシントン条約附属書2に加えた。

3) 伐採に係る先住民や地域住民の権利

森林・野生生物法は、地域コミュニティの自給自足を目的とした資源利用と共同管理、第三者への伐採権の割り当て等を規定している。地域コミュニティは、当該地域の森林資源を自分たちの消費のために利用することができるが、許可なしに商品として販売することは認められていない。森林・野生生物規則 (第7条) は、地域コミュニティの歴史・文化的利用及び価値のある地域⁷¹について定めており、当該地域における外部者による森林の利用は禁止され、資源の利用は規範と慣習に従って行われる。歴史・文化的利用及び価値のある地域の認定は、地域コミュニティの代表者10名以上の署名によって申請が行われ、州行政代表が宣言する権限を有する。

の両側50メートルの範囲；陸の国境から2キロの範囲；空港と飛行場から100メートルの範囲；軍その他の国家防衛・治安施設から100メートルの範囲。

⁶⁹ Forest Legality Initiative <<https://forestlegality.org/risk-tool/country/mozambique#tab-laws>>

⁷⁰ ワシントン条約附属書II：現在は必ずしも絶滅の恐れはないが、取引を規制しなければ絶滅の恐れがあると考えられる。商業目的の取引は可能であるが、輸出国政府の発行する輸出許可書等が必要となる。

⁷¹ 農村の墓地の中にある森林、信仰の対象となる場所、地域コミュニティによって伝統的な薬の抽出のために利用されている植物が分布する森林、信仰に利用されている野生動物種が生息する森林は、法律によりその開発が禁止されていない限り、歴史・文化的利用及び価値のある地域と認識される (森林・野生生物規則第7条)。

土地法は、地域コミュニティの慣習的土地権を認め、事業者が当該地域の自然資源を利用し利益を得る権利を取得するためには、地域コミュニティに対するコンサルテーションを義務化している。また、森林・野生生物法は、森林開発コンセッションとシンプルライセンスの承認のために、地域コミュニティに対するコンサルテーションを要件とし、その手順を規定している。事業の対象となる地域の全部または一部が、地域コミュニティが利用する権利を有する地域内に位置する場合には、事業申請者、地域コミュニティ、国の間で、利用条件の交渉が行われなければならない。なお、森林の開発税の 20% は、伐採が行われる当該地域の社会的利益のために利用される（森林・野生生物法第 27 条）。コンサルテーションの具体的な手続きは以下の通り 2 段階に定められ、手続きに従わず行われた場合は有効とはみなされない（Diploma Ministerial nr. 158/2011）：

1. 土地の利用の権利の取得の要求及び利用地域に関する情報を地域コミュニティに提供することを目的としたコンサルテーション
2. 事業を実施するための土地の利用可能性について、地域コミュニティの意見を得ることを目的としたコンサルテーション（最初のコンサルテーションから 30 日以内で行われる）

コンサルテーションには、申請者またはその代理人、地域の行政官またはその代理人、登録局（Serviços de Cadastro）、市町村レベルの諮問委員会（Conselhos Consultivos de Povoação e de Localidade）メンバー、地域コミュニティのメンバー、隣接する土地の所有者または占有者が参加する。コンサルテーションの議事録は Diploma Ministerial nr.16/2017 に従って作成され（付属資料 4.5）、諮問委員会のメンバーが署名しなければならない。議事録のコピーは地域住民に配布される。

事業者が地域コミュニティの権利を守り、法令義務の履行を確保するため、森林・野生生物法及び森林・野生生物規則は、森林・野生生物資源管理地方協議会（conselhos locais de gestão de recursos florestais e faunísticos: COGEP）の設置を規定している。COGEP は、コミュニティレベルで設置され、地域コミュニティ、森林・野生生物資源に関連する活動を行う個人や法人、団体や非政府組織、政府機関からの代表者で構成される独立した組織として位置付けられ、関係者及び第三者によるあらゆる法律違反を問うことができる。COGEPs は、以下の事項を考慮して、その目的及び一般的なガイドラインを実行する：

- 森林・野生生物資源の利用の申請に関する手続き。
- 森林・野生生物資源の持続的な利用が、地域社会の生活水準の向上に寄与するような行動の開発
- 森林・野生生物資源の利用と利用に関わる様々な利害関係者を巻き込んだ紛争解決メカニズム
- 森林・野生生物資源のモニタリングを担当する国の機関との協力
- 森林・野生生物資源に関する政策や法律の改善

- 火災の抑制に関連した行動
- 当該地域に位置する資源の管理計画のガイドライン

COGEPs は、特定のプロジェクトが農村開発の目的や森林及び野生生物資源の持続可能な利用に適合しないことが判明した場合、そのプロジェクトの取消又は廃止を事業者に対して提案することができる。

(不遵守のリスク)

いくつかの報告書は⁷²、「地域コミュニティへのコンサルテーションが適切に実施されていない」、「地域住民との合意のないまま事業が実施される」、「合意事項が遵守されない」、「実際にはほとんどの地域住民は、コンセッション事業に関して雇用の機会を得ることができず⁷³、目に見える利益が得られない」、「集中的な伐採や重機の使用によって、道路の損傷、森林資源と野生動物の減少が起こり、地域住民は近くで狩猟をすることができなくなり、生計手段が脅かされる」、そしてこうした問題と事業者との信頼関係の欠如から、「地域住民は、自らの生計と利益を確保するために事業に対する反発や違法な伐採活動に関与する」等の問題を指摘する。

4) 伐採に係る税金と手数料

モザンビークでは119種が商業樹種に指定され、貴重種と第1～第4クラスに分類されている（付属資料4.1）。伐採に係る税率は、Diploma Ministerial nr. 293/2012によって樹種の等級毎に定められている。また対象とする面積とその経済利益可能性に応じて、利用料が決定される。

森林・野生動物法の第27条に従って、伐採に係る税金の20%は、伐採が行われる当該地域の社会的利益のために利用される。受益者となる地域コミュニティは、必要な登録や、管理委員会の設置、口座開設を行う。一方で、EU FLEGT (2014)⁷⁴や Muianga & Norfolk (2017)⁷⁵、UEM (2013)⁷⁶の報告によると、地域住民のほとんどが制度を正しく理解していないこと、口座開設等の必要手順は、都市部から離れた地域コミュニティにとって複雑で

⁷² Siteo, A. A.; Guedes, B. S.; Siteo, S. N. D. M.; (2007) Avaliação dos modelos de manejo comunitário de recursos naturais em Moçambique. DNTF/MINAG. FAO. Maputo; Teixeira, J. V. (2018) A participação das comunidades locais na gestão das florestas em Moçambique: caso dos distritos de Montepuez, Maúa, Marrupa e Majune. Universidade Nova de Lisboa. Faculdade de Ciências sociais e humanas. Janeiro, 2018; UEM (2013) 前掲; Muianga, M. e Norfolk, S. (2017) 前掲.

⁷³ 森林・野生生物規則（第32条）は、労働者を募集するときは、地域コミュニティの住人を優先することをコンセッション事業者の義務として定める。

⁷⁴ EU FLEGT (2014) 前掲

⁷⁵ Muianga & Norfolk (2017) 前掲

⁷⁶ UEM (2013) 前掲

あること、そして透明性の欠如や当局や地域コミュニティの指導者の不正によって利益配分が適切に実施されていないこと等が問題として挙げられる。

4-3-3 伐採の合法性が確認できる書類（証明システム）の事例及びその発行条件

1) 伐採ライセンス

伐採ライセンス（1年間有効）は、管理計画書の提出後、SPAによる検査が行われ、その後必要な手数料の支払いを経て、発行される。

森林・野生生物法及び規則に従い、森林開発コンセッションで伐採ライセンスを取得するには、以下の条件を満たさなければならない：

- 社会的施設（例：伐採キャンプ）と加工施設が設置されていること
- 管理計画に沿って、現場に年間伐採ブロックを設置していること
- 伐採対象となる樹種の量と質が決まっていること
- 年間利用料が支払われていること
- 年間伐採量に応じた伐採料が支払われていること

シンプルライセンスについては、以下の条件を満たすと伐採ライセンスが発行される：

- 管理計画の実施のための技術的能力が備わっていること
- 伐採、搬出、輸送の手段が備わっていること。
- 管理計画が承認されていること
- 年間利用料がしはらわれていること
- 年間伐採量に応じた伐採料が支払われていること

伐採ライセンスの様式は Diploma Ministerial nr. 6/2017 の付属書 5 に示される（付属資料 4.2）。伐採ライセンスは、原本とコピー 3 部が発行される：

- 原本：事業者に対して発行
- 第 1 コピー：支払領収書のコピーに添付される
- 第 2 コピー：伐採が行われる当該郡に送付される
- 第 3 コピー：記録簿に添付される

伐採ライセンスの番号は、コンセッション事業者及びシンプルライセンス事業者に対して発行される木材を輸送するために必要な輸送許証（Guia de Tránsito de Produtos Florestais）（付属資料 4.6）に記される。

2) 伐採樹種、量の記録

事業者は、丸太の伐採量と輸送量について以下の通り記録簿を作成し管理する（Egas et

al.2017) ⁷⁷。

- 「伐採記録簿 (livro de registo de corte de toros na floresta)」: 伐採した木材を記録する。伐採ライセンス番号と伐採した樹種名、サイズ、伐採日等が記入される。
- 「集積場の集材記録簿 (livro de registo de entrada de toros no apeadeiro)」: 集積場に運ばれた丸太を記録する。この記録簿には「伐採記録簿」と同じ番号が付けられる。
- 「輸送する丸太のリスト (Mapa de Especificacoes de Productos Florestais)」 (付属資料 4.7): 集積場から特定のトラックによって運搬される丸太を記録する。リストには、木材輸送許可証 (付属資料 4.6) の番号、記録簿の番号、日付、製品、樹種、直径、長さ、量 (m³) が記される。シートは木材輸送許可証と一緒に丸太の輸送に使われる。

コンセッション事業者とシンプルライセンス事業者は、実施した活動に関する報告書を四半期ごとに SPA に提出しなければならない。また、伐採や集材で使用した上記の記録簿は、検査の際に求められる。

在来樹種の伐採には、毎年 1 月 1 日から 3 月 31 日までの閉鎖期間が設けられ、その期間中は、丸太の伐採と搬出は禁止される。SPA の確認の上、前年に伐採され集材場に集められた丸太の輸送のみが許可される。許可されると、原木を選別して運搬し、運搬された原木は前年分の記録簿上に印が付けられる。

⁷⁷ Egas, A.; Júnior, E.; Bila, N.; Siteo, E. (2017) Procedimentos de registo e verificação de dados na cadeia de fornecimento de madeira. IIED Relatório do país. IIED, Londres. Outubro 2017.

4-4 木材の流通段階における法令等

木材の流通段階（輸送、加工、貿易）に関する法令を表 4.7 に取りまとめる。

表 4.7 木材の流通（輸送、加工、貿易）に関する法令の一覧

法令（法令番号）	制定年	説明
森林・野生生物法（Lei nr.10/99.）	1999 年 7 月 7 日	森林と野生生物資源の保護、保全、持続可能な利用に関する基本的な原則と規範を定める。森林の伐採制度、流通について規定する。
森林・野生生物規則（Decreto nr.12/2002	2002 年 7 月 6 日	森林・野生生物法の実施規則
Diploma Ministerial nr. 16/2017	2017 年 2 月 8 日	木材の伐採と輸送に関する書類の様式を規定する
Lei nr.7/2010.	2016 年 12 月 30 日に改正	加工木材輸出税（TEMP）について規定する
Decreto nr. 42/2017	2017 年 8 月 17 日	加工木材の輸出のために規則、条件、手続きを定める
Diploma Ministerial nr. 54/2018	2018 年 12 日	加工木材輸出業者の適格基準を定める
Diploma Ministerial nr. 55/2018	2012 年 8 月 1 日	加工木材製品の輸出に関する要件、手続きを定め、年間木材輸出計画の様式を示す

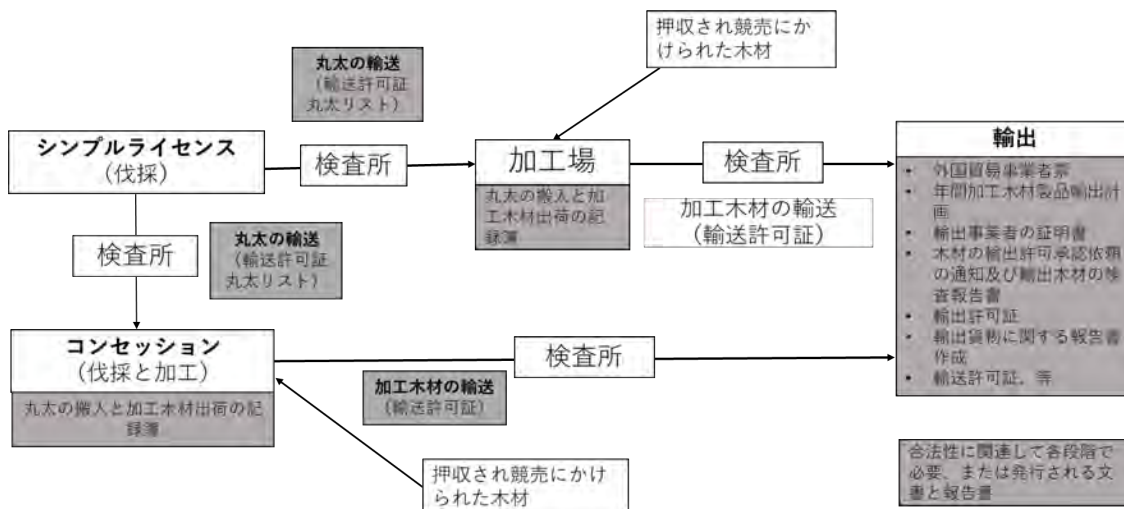
4-4-1 木材の流通に関する行政の体制

表 4.5（モザンビークの林業セクター（伐採、加工、貿易）に係る政府機関）を参照。

4-4-2 木材の流通段階における法令等の概要と運用状況

図 4.9 に天然林から伐採された木材（コンセッションとシンプルライセンスによる）の輸送、加工、輸出までのプロセスの概要を示す。

図 4.9 天然林の伐採から輸送、加工、輸出までのプロセス



注) コンセッション事業者と加工場のすべてが木材製品を輸出するわけではない(「4-4-3 木材・木材製品を輸入・輸出する際の法令・証明システムの概要及び事例」を参照)

1) 木材の輸送

森林・野生生物法と関連規則によって木材の輸送段階の制度が規定されている。コンセッション事業者とシンプルライセンス事業者が生産した木材の輸送には、SPA が発行する輸送許可証(付属資料 4.6)が必要である。輸送許可証は、年間の伐採ライセンスに記載されている許可量に基づいて、複数発行される。

輸送許可証には、記録簿番号と伐採ライセンス番号、輸送する樹種、量、直径等の情報が記載され、SPA のスタンプと署名が記される。輸送許可証の他に、丸太の輸送には輸送する丸太のリスト(付属資料 4.7)を添付しなければならない。

輸送許可証は、A5 サイズで、下記の通り許可証毎にオリジナルとコピーの計 5 部が含まれる (Ministerial Diploma nr. 16/2017) :

- 原本(白色) : 輸送目的地まで当該木材と一緒に運ばれる
- 第 1 コピー(緑色) : 統計情報の報告書に添付して、毎月末に SPA に送られる
- 第 2 コピー(ピンク色) : 伐採地近くの検査所で回収される
- 第 3 コピー(黄色) : 伐採地が位置する州の最後の検査所で回収される
- 第 4 コピー(青色) : 輸送目的地のある州の最後の検査所で回収される
- 第 5 コピー(クリーム色) : 伐事業者が提出する記録簿に添付される

付属資料 4.6 の様式を使った輸送許可証は、伐採ライセンスに基づき、コンセッション事業者とシンプルライセンス事業者に対してのみ発行される。製材所等の加工業者は、SPA に加工製品の輸送許可を申請する必要がある。

木材輸送の検査は、主要な国道沿い、州間の境界線上、主要都市の入り口に設置されて

いる検査所で昼夜を問わず行われる。これらの検査所では輸送許可証コピーが回収され、免許証と輸送されている樹種と数量が確認される。検査官は、輸送日、許可番号、発行日と有効期限、記載された製品の種類、量、輸送手段、原産地、目的地等を記録して、定期的に州政府に報告する。

(不遵守のリスクに関する情報)

Egas et al. (2017)⁷⁸と Muianga & Norfolk (2017)⁷⁹は、輸送許可証に記された以上の木材の輸送、虚偽の許可証や過去に使用済みの許可証の利用、あるいは輸送許可証を得ていない木材を代替ルートで輸送することによる違法行為を指摘する。

2) 木材の加工

木材加工場は、DPDTA が設立を許可し、SPA が運営の監督を担当する⁸⁰。森林・野生動物規則（第 32 条）により、コンセッション事業者は、加工場を設置することが義務付けられる。コンセッション事業者は自前のコンセッションからの原木だけでなく、他の事業者から原木を購入し加工することも出来る。

丸太が加工業者に届けられると、「製品入庫記録簿 (livro de registo de entrada de produtos)」に記録され、加工後の出荷時に「林産品出庫記録簿 (livro de registo de saída de produtos florestais)」に記録される。記録簿には、輸送許可証に関する情報（輸送許可証の記録簿番号、輸送許可証番号、日付）と輸送された又は輸送される木材のタイプ、樹種、量が記録される。

加工場は、法律で義務付けられている毎月の報告書を通じて検査され、その中には木材の入荷、加工、販売の動きが、種、数量、それぞれの許可ごとに記載されている。SPA は、州の産業を管轄する機関と連携して木材加工場を管理し、四半期ごとに国家森林総局 (DINAF) に報告する。

4-4-3 木材・木材製品を輸入・輸出する際の法令・証明システムの概要及び事例

モザンビークでは、あらゆる在来種の原木輸出は禁じられており、加工された木材製品のみ政府に承認された組織だけが輸出できる。以下に加工木材輸出のプロセスの概要を示す：

1. 事業者による年間加工木材製品輸出計画の作成と提出（付属資料 4.8）
2. 輸出事業者の証明書 (Certificado de Exportador) の発行：1 年間有効（付属資料 4.9）
3. 木材輸出の申請

⁷⁸ Egas et al(2017) 前掲

⁷⁹ Muianga & Norfolk (2017) 前掲

⁸⁰ 国家森林総局 (DINAF) スタッフへのインタビュー

4. SPA による検査と木材の輸出許可承認依頼の通知及び輸出木材の検査報告書の作成（付属資料 4.10）
5. 輸出許可の発行（付属資料 4.11）
6. 税関によるパッキング支援の承認
7. 輸出貨物に関する報告書作成（付属資料 4.12）
8. 輸出港までの木材の輸送

Diploma Ministerial nr. 54/2018 によると、在来種の加工木材の輸出は、コンセッション事業者、加工業者、そして国家機関である国家持続可能な開発基金（Fundo Nacional de Desenvolvimento Rural: FNDS）に許可される。加工木材を輸出する資格を得るためには、コンセッション事業者と加工事業は、以下の基準を満たしていなければならない：

- 投資額：750 万メティカル（約 100 万円相当）以上
- 設置電力：10 KVA 以上
- 労働者：20 人以上
- 1 日あたりの生産量：5m³ 以上
- 原料置き場
- 最低限の稼働可能な木材加工用機械（切断用鋸 1 台、面取り機 1 台、平行ガイド 1 台、鋸目立て機 1 台）

上記の基準を満たす事業者は、年間加工木材輸出計画を作成する。同計画は、輸出する前年の 9 月 1 日から 11 月 30 日までの間に提出され、SPA を通じて国家森林総局(DINAF) に送付される。輸出計画書の様式（付属資料 4.8）には、事業者名、外国貿易事業者票番号、事業者所在地と連絡先及び製品種類（板材、ボード、パーケット等）、数量、輸出先について記入される。また、以下の書類の提出が求められる（Diploma Ministerial nr.55/2018）：

- 外国貿易事業者の写し
- NIUT（納税者番号）の写し
- 最新の納税証明書の写し最新の社会保障支払い証明書の写し
- SPA より発行された、月間統計情報提供の証明書
- 当該加工場の木材加工能力及び稼働状況を証明する SPA の所見

SPA による年間加工木材製品輸出計画の承認手続きは、書類審査と申請者の木材加工能力に基づいて行われる。年間輸出計画が承認されると、1 年間有効な輸出事業者証明書が発行される（付属資料 4.9）。証明書には、認証番号、製品タイプと輸出許可された量が記される。承認された事業者の一覧は政府がとりまとめる（付属資料 4.13）。

輸出事業者証明書があれば、事業者はその有効期限内にいつでも許可された年間輸出量に達するまで輸出許可申請を行うことが出来る。申請には、以下の情報が必要となる

(Decreto nr. 42/2017) :

- 輸出事業者の名前、住所、NIUT (納税者番号)
- 外国貿易事業者票の写し
- 製品情報 (種類、樹種、数量)
- 製品の仕立地及び仕向地
- 木材輸送許可証の原本

輸出申請の提出後に、植物検疫を含む製品の検査が行われ、SPA によって関連する報告書 (付属資料 4.10) ⁸¹が作成され、国家森林総局 (DINAF) に送られる。報告書には、輸出事業者証明書 (付属資料 4.9) が添付される。報告書が確認され、問題が見当たらない場合は輸出が承認され許可証が発行される (付属資料 4.11) :

- 原本 : 税関への輸出手続きに添付される
- コピー (1 枚目) : 州の森林資源を管轄する部局による輸出許可手続きに添付される
- コピー (2 枚目) 州の産業と貿易を監督する部局用
- コピー (3 枚目) : 輸出業者用
- コピー (4 枚目) : 州の森林資源を管轄する部局が保管する

輸出許可証には、許可番号、輸出事業者名、納税者番号、輸出目的地、当該製品の出国地、輸出する木材製品のタイプ、樹種、個数、数量、品目コードなどの情報が記載される。

輸出が許可された事業者は、コンテナの梱包、積み込み、封印に関して税関にパッキング支援を要請する。この作業は、税関と土地・環境省 (MTA) 職員の立会いの下で行われる。梱包が終了すると、コンテナは施封され、輸出貨物に関する報告書 (付属資料 4.12) が作成される。この報告書には、当該事業者に対する木材の輸出許可の通知、木材の検査結果、木材のパッキング支援に関する報告書が含まれる。この報告書は、当該輸出事業者のそれ以降の木材輸出申請に必要な木材輸出統計情報の基礎となる。また、当該木材製品を輸出地点まで輸送する際には、輸出許可証と輸出貨物に関する報告書のコピーが必要となる。

加工木材輸出税 (TEMP) は、FOB 価格と加工の程度に応じて決定され、通関手続き中に支払われる。FOB 価格は、土地・環境省 (MTA) が作成する当該木材製品の参照価格、量、樹種を基に決定される。

⁸¹ この報告書には、SPA から DINAF への輸出許可承認依頼の通知、輸出する木材の表、検査報告書、輸出事業者が提出した検査依頼書が含まれる。付属資料 (4.10) は、州森林・野生生物サービス (SPFFB) が作成した報告書であるが、Decreto nr. 63/2020 により、検査や関連文書の作成等の木材製品の輸出に関する業務は SPA が担うことになる (国家森林総局 (DINAF) インタビュー)。

付属資料リスト

- 付属資料 4.1 モザンビークの木材用樹種と区分
- 付属資料 4.2 伐採ライセンス (Licença de Exploração Florestal) (様式)
- 付属資料 4.3 土地利用が重複しないことの証明書 (Certidão Negativa) (様式)
- 付属資料 4.4 シンプルライセンスの契約書
- 付属資料 4.5 地域コミュニティへのコンサルテーション議事録 (様式)
- 付属資料 4.6 丸太・木材の輸送許可証 (Guia de Trânsito de Produtos Florestais) (様式)
- 付属資料 4.7 輸送丸太リスト (Mapa de Especificacoes de Productos Florestais) (様式)
- 付属資料 4.8 木材加工製品輸出の年間計画 (様式) と承認書 (様式)
- 付属資料 4.9 輸出事業者の証明書 (Certificado de Exportador)
- 付属資料 4.10 州森林・野生生物サービス (SPFFB) による木材の輸出許可承認依頼の通知と輸出木材の検査報告書
- 付属資料 4.11 輸出許可証 (様式)
- 付属資料 4.12 輸出貨物に関する検査報告書
- 付属資料 4.13 木材輸出が承認された事業者のリスト (2019 年)

付属資料 4.1 モザンビークの木材用樹種と区分

(貴重樹種)

Tabela referida no artigo 3 - Listas de espécies nativas produtoras de madeira
Espécies Produtoras de Madeira Preciosa

N.º	Nome Científico	Nomes Comerciais	Nomes Locais ou Vernaculares	DAP mín. (cm)
01	<i>Berchemia zeyheri</i>	Pau-rosa	Mulatchine, Sungagoma	30
02	<i>Dalbergia melanoxylon</i>	Pau-preto	Mpinge, Mpivi, N'mico	20
03	<i>Diospyros kirkii</i>		Mucula-cula, Muoma	40
04	<i>Dyospiros mespiliformis</i>	Ebano	Mfuma, Ntoma	50
05	<i>Ekebergia capensis</i>	Inhamarre	Inhamarre	50
06	<i>Entandophragma caudatum</i>	Mbuti	Bubuti, Mubuti	50
07	<i>Guibourtia conjugata</i>	Chacate preto	Chacate	40
08	<i>Milicia excelsa</i>	Tule	Megunda, Mecuco, Mahundo	50
09	<i>Spirostachys africana</i>	Sândalo	Chilingamache, Mucunite	30
10	<i>Pterocarpus tinctorius</i>	Nkula		30

注) 左から番号、学名、一般名、現地名、伐採可能な最小胸高直径 (cm)

(第1級樹種)

Tabela referida no artigo 3 - Listas de espécies nativas produtoras de madeira
cont.

Espécies Produtoras de Madeira da 1.ª Classe

N.º	Nome Científico	Nomes Comerciais	Nomes Locais ou Vernaculares	DAP min. (cm)
11	<i>Azelia quanzensis</i>	Chanfuta	Mussacossa, Mugengema, muoco	50
12	<i>Androstachys johnsonii</i>	Mecrusse	Cimbirre	30
13	<i>Albizia glaberrima</i>		Mutivera	40
14	<i>Albizia versicolor</i>	Tanga-tanga	Tingare, Mpovera	40
15	<i>Balanites maughamii</i>	Nulo	Muvando, Nanluve, Sacanono	30
16	<i>Breonardia microcephala</i>	Mugonha	Muonha, Nkonha	50
17	<i>Baikiaea plurijuga</i>		Chiti	30
18	<i>Combretum imberbe</i>	Mondzo	Munagari, Mungari, Ehupu	40
19	<i>Cordyla africana</i>	Mutondo	Bonjua, Murroto	50
20	<i>Diospyros spp</i>		Mucucul-cula, Muoma	40
21	<i>Erythrophloeum suaveolens</i>	Missanda	Muave	40
22	<i>Faurea speciosa</i>		Muxiri, Nthethere, Mussossola	40
23	<i>Inhambanella henriquesii</i>	Mepiao	Mepiao	50
24	<i>Khaya nyasica</i>	Umbáua	Mbawa	50
25	<i>Millettia stuhlmannii</i>	Jambirre	Panga-panga, Panguire	40
26	<i>Monotes africanus</i>		Muculala	30
27	<i>Morus lactea</i>	Mecobeze	Mecobeze	50
28	<i>Pterocarpus angolensis</i>	Umbila	Mbila, Mucurambira	40
29	<i>Podocarpus falcatus</i>		Gógogo, Izulambite, Chongue	50
30	<i>Pseudobersama mossambicensis</i>		Tondue, minhe-minhe	40
31	<i>Swartzia madagascariensis</i>	Pau-ferro	Nhaquata, Pau-rosa, Cimbe	30
32	<i>Colophospermum mopane</i>		Chanato, Nissano, Missanye	30
33	<i>Pericopsis angolensis</i>	Muanga	Chuanga, Muaca, Muanka	40

(第2級樹種)

Espécies Produtoras de Madeira da 2.ª Classe

N.º	Nome Científico	Nomes Comerciais	Nomes Locais ou Vernaculares	DAP mín. (cm)
34	<i>Albizia adianthifolia</i>	Mepepe	Goana, Megerenge	40
35	<i>Amblygonocarpus andongensis</i>	Mutiria	Banga-wanga, Mutindire	40
36	<i>Bombax rhodognaphalon</i>	Sumauma	Meguza, Mefuma	50
37	<i>Brachystegia boehmii</i>	Mafuti	Mfuti, Mopwo	40
38	<i>Brachystegia bussei</i>		Kokoro	40
39	<i>Brachystegia longifolia</i>		Tagate, Takata, Itakhata	40
40	<i>Brachystegia manga</i>	Messassa	Mpapa rupakhole	40
41	<i>Brachystegia spiciformis</i>	Messassa	Mpapa, Tsondo	40
42	<i>Brachystegia utilis</i>		Nankweso, Mucoio	40
43	<i>Burkea africana</i>	Mucarala	Mucarati, Nkarara, Mecimbe	40
44	<i>Julbernardia globiflora</i>	Messassa encarn.	Muhimbe, Mpacala	40
45	<i>Newtonia buchananii</i>	Mafumuti	Nipovera	50
46	<i>Newtonia hildebrandtii</i>	Infomoze	Infomoze	50
47	<i>Parkia filicoidea</i>	Mucuti	Mucuti	50
48	<i>Pteleopsis myrtifolia</i>	Mungoroze	Mduro, Nleva	40
49	<i>Ricínodendron rautanenii</i>	Mungomo	Ngomo, Iphaka	50
50	<i>Sclerocarya birrea</i>	Canho	Mfula, Tsula, Nkokwo	50
51	<i>Sterculia quinqueloba</i>	Metonha	Ntonha, Nthumpu	40
52	<i>Sterculia appendiculata</i>	Metil	Njale	50
53	<i>Terminalia sp</i>	Messinge	Meculungo	40
54	<i>Trichilia emetica</i>	Mafurreira	Muciquiri, Mafurra	40

(第3級樹種)

Espécies Produtoras de Madeira da 3.ª Classe

N.º	Nome Científico	Nomes Comerciais	Nomes Locais ou Vernaculares	DAP mín. (cm)
55	<i>Acacia nigrescens</i>	Namuno	Mecungo, Micaia	40
56	<i>AnthocLeista grandiflora</i>	Mezambe	Rotanda	30
57	<i>Avicennia sp</i>	Mangal branco	Mangal branco	30
58	<i>Bridelia micrantha</i>	Metacha	Melelha, Mussaba	40
59	<i>Barringtonia recemosa</i>	Mangal	Massinhama	30
60	<i>Bruguiera gymnorhiza</i>	Mangal encarn.	Mangal encarnado	30
61	<i>Cassipourea gummiflua</i>	Mezambe	Mezambe	30
62	<i>Celtis africana</i>		Messucandiri	40
63	<i>Celtis gomphophylla</i>		Mrtuzite	50
64	<i>Cleistanthus holtzii</i>		Nacuva.Nacura	50
65	<i>Cynometra carvalhoi</i>	Evate	Evate	40
66	<i>Ceriops tagal</i>	Mangal branco	Mangal branco	30
67	<i>Dialium schlechteri</i>	Ziba	Nziba, Ziva	40
68	<i>Dialium sp.</i>		Mepepete	40
69	<i>Erythrophloeum sp</i>		Incalazi, Tchaia, Muacari	40
70	<i>Funtumia latifolia</i>		Nhapwepwa	30
71	<i>Guibourtia coleosperma</i>	Chacate encarn.	Chacate encarnado	40
72	<i>Heritiera littoralis</i>	Mangal branco	Luabo	30
73	<i>Kigelia pinnata</i>		Vunguti, Nrikiriki	40
74	<i>Parinari curatellifolia</i>		Muhula, Mahula, Ntupio	30
75	<i>Phyllanthus sp.</i>		Chire, Mecua	50
76	<i>Piliostigma thoningii</i>	Mucequece	Mucequece	40
77	<i>Pseudolachnostylis maproneifolia</i>		Messolo, Ntholo, Mussonjoa	30
78	<i>Ptaeroxylon obliquum</i>		Tchetcheretane	40
79	<i>Rhizophora mucronata</i>	Mangal	Mangal encarnado	30
		encarn.		
80	<i>Sapium ellipticum</i>	Tchaia	Tchaia	40
81	<i>Sideroxylon inerme</i>		Mebope	40
82	<i>Syzygium cordatum</i>		Mecurri, Tucura, Mudlho	40
83	<i>Syzygium guineense</i>	Jambaloeiro	Mecurre, Nakuthanthe, Mecuti	40
84	<i>Terminalia sericea</i>	Inconola	Sai-sai, Kassanche, Messusso	30
85	<i>Terminalia stenostachya</i>		Sai-sai, Kassanche	30
86	<i>Uapaca kirkiana</i>	Metongoro	Metela, Nahunkwo	30
87	<i>Uapaca nitida</i>	Metongoro	Metela, Nakachunkwo	30
88	<i>Uapaca zanguebarica</i>	Metongoro	Kochokore	30
89	<i>Vitex doniana</i>		Nhazuovo	40
90	<i>Vitex sp</i>		Nakuna	40
91	<i>Xeroderris sthulmannii</i>	Mulonde	Merunde, Nlothe	40
92	<i>Xylia sp</i>			40
93	<i>Xylopiia aethiopica</i>		Mepeza	40

(第4級樹種)

Espécies Produtoras de Madeira da 4.ª Classe

N.º	Nome Científico	Nomes Comerciais	Nomes Locais ou Vernaculares	DAP mín. (cm)
94	<i>Acacia albida</i>		Micaia, Dzungua, Sango	40
95	<i>Acacia burketi</i>		Micaia, Munga	40
96	<i>Acacia erioloba</i>		Micaia, Munga	40
97	<i>Acacia karroo</i>		Micaia, Munga	40
98	<i>Acacia nilotica</i>		Micaia, Munga	30
99	<i>Acacia polycantha</i>		Micaia, N'roca	40
100	<i>Acacia robusta</i>		Micaia, Massadzi	40
101	<i>Acacia senegal</i>		Micaia, Munga	30
102	<i>Acacia sieberana</i>		Micaia, Gunga	40
103	<i>Acacia tortilis</i>		Micaia, Munga	30
104	<i>Acacia xanthophloea</i>		Micaia, Megerenge	40
105	<i>Antidesma venosum</i>		Nhonge, chongue	30
106	<i>Borassus aethiopicum</i>		Mudicua, Palmeira	30
107	<i>Cussonia sp</i>		Capwapwa, Nampuko-puko	50
108	<i>Dolichandrone alba</i>		Tsani	30
109	<i>Erythrina livingstonei</i>		Titi, Nancilacona	40
110	<i>Fernandoa magnifica</i>		Tondjua, Mpovataci	30
111	<i>Hirtella zanguëbarica</i>		Cimboma, Mucimboma	30
112	<i>Hyphaene sp</i>		Micheu, Palmeira	30
113	<i>Kirkia acuminata</i>		Mtumbui, Poko-poko	40
114	<i>Lannea sp</i>		Chiucanho, Msatoto, Cimuii	40
115	<i>Lecanidiscus fraxinifolia</i>		Mutarara	30
116	<i>Manilkara sp</i>		Nheve, Nhewa	40
117	<i>Mimusops sp</i>		Ntzoze, Bengwerwa	40
118	<i>Treculia Africana</i>		Tchaia	50
119	<i>Tamarindus indica</i>	Tamarindo	Tamarinho, Wepa	50

出典: Decreto nr. 42/2017

付属資料 4.2 伐採ライセンス (Licença de Exploração Florestal) (様式)



Anexo 5
Código de Segurança

REPÚBLICA DE MOÇAMBIQUE
Governo da Província de _____

Direcção Provincial da Terra Ambiente E Desenvolvimento Rural
Serviços Provinciais de Florestas e Fauna Bravia

伐採ライセンス番号

事業者名と住

Licença de Exploração Florestal Código da Província /Número/Ano

Nos termos do artigo 21 do Regulamento da Lei de Florestas e Fauna Bravia, aprovado pelo Decreto n.º 12/2002, de 6 de Junho, é autorizado o(a) Sr.(a)/Empresa _____, residente em _____ a explorar:

Quantidade	Produto	Espécie	Classe	Voluma	Unidade de Medida
Total					

numa área de _____ ha, localizada em _____
Localidade de _____ Posto Administrativo de _____
Distrito de _____ Província de _____

Esta licença é válida até _____ de _____ de 20____, tendo sido cobrada a importância de _____,00MT (_____), pelo recibo n.º _____
De _____ de _____ de 20____

O beneficiário obriga-se a explorar e transportar o volume autorizado até o dia 31/12/20____, e declarar o volume de madeira e estância até ao dia 15 de Dezembro do mesmo ano. Deve cumprir com a legislação em vigor, as técnicas e condições de exploração.

_____ aos _____ de _____ de 20____

Observações: _____

O Chefe dos Serviços _____

伐採ライセンスの有効期間

対象面積と所在地

表:(左から順に)数、製品タイプ、樹種、樹種クラス、量、単位

出典 : Diploma Ministerial nr. 16/2017

付属資料 4.3 土地利用が重複しないことの証明書 (Certidão Negativa) (様式)

Anexo 3



REPÚBLICA DE MOÇAMBIQUE
Governo da Província de _____
Direcção Provincial de Terra, Ambiente e Desenvolvimento Rural
Serviços Provinciais de Florestas e Fauna Bravia
Província de _____

Certidão Negativa

Nos termos do n.º 4 do artigo 18.º do Regulamento da Lei de Florestas e Fauna Bravia, aprovada pelo Decreto n.º 12/2003, de 6 de Junho, *Certifico* que a área pretendida pelo requerente _____, não está ocupada e não decorre nenhum pedido para a mesma área.

Por ser verdade, passo a presente certidão, que assino e levo aposto o selo em uso nestes Serviços

_____, aos _____ de _____ de 20____

O Chefe dos Serviços

出典：Diploma Ministerial nr. 16/2017

申請者によって申請された地域が占有されておらず、同地域の（他の利用）申請が行われていないことを証明する

付属資料 4.4 シンプルライセンスの契約書



- b) **Redimensionamento** da área e revisão do Plano de Manejo correspondente, se o cumprimento do Plano de Manejo estiver entre 25% a 50%;
- c) **Aviso e recomendação técnica** para o cumprimento integral do Plano de Manejo se o cumprimento estiver entre 50% a 75%.

Cláusula 4ª
Espécies e volumes

1. Ao abrigo do presente contrato e de acordo com o Plano de Manejo aprovado o operador está autorizado a proceder, nos primeiros três anos da vigência do presente contrato, a exploração sustentável das espécies florestais constantes na tabela abaixo, **num volume máximo anual de 500 metros cúbicos** e de acordo com anexo I do Decreto 12/2002 de 06 de Junho. Após este período, a exploração florestal ficará condicionada a revisão do Plano de Manejo.

Tabela de Corte Anual Admissível das espécies que ocorrem na área

N. Ordem	Nome comercial	Nome científico	Volume Total (m ³)	CAA (m ³ /ano)
1	Umbila	<i>Pterocarpus angolensis</i>	1.133	75
2	Pau-ferro	<i>Swartzia madagascariensis</i>	1.660	100
3	Muaga	<i>Pericopsis angolensis</i>	762	50
4	Messassa	<i>Brachystegia spiciformis</i>	1.363	90
5	Metongoro	<i>Uapaca nitida</i>	1.200	80
Total			6.108	395

- 2. O concedente poderá interditar, total ou parcialmente, a exploração de uma ou mais espécies desde que se reconheça que a sua extração possam resultar prejuízos para a floresta.
- 3. Ficarão interditos a exploração os exemplares que o concedente mandar reservar e marcar como árvores "porta-bomentes" bem como as manchas localizadas de floresta em que a actividade de exploração se revele altamente prejudicial ao equilíbrio ecológico.

表:対象地域に存在する樹種の許可された年間伐採量(左 2 列目から順に)商業樹種名、学名、樹種の合計量(m³)、許可された年間伐採量(m³/年)

Cláusula 5ª
Taxas

1. Pela ocupação da área de exploração florestal, objecto do presente contrato, a operadora pagará uma taxa anual a ser aprovada, sem prejuízo de outras taxas previstas na Lei, pela exploração de recursos florestais e outros existentes na área.
2. O valor referente a taxa de exploração florestal, previsto no Diploma Ministerial 293/2012, de 7 de Novembro, deverá ser pago até 31 de Outubro do ano a que dizer respeito.
3. O não pagamento da taxa no prazo referido no número anterior, implicará a interdição da exploração florestal, a qual se tornará definitiva se não for regularizado até doze meses.

Cláusula 6ª
Exclusividade

1. O operador tem direito exclusivo de:
 - a) Explorar, investigar e realizar estudos dos recursos florestais constantes na área objecto deste contrato, e com este objectivo desenvolver as operações e trabalhos que se mostrem necessários;
 - b) Opor-se a atribuição parcial ou total, a terceiros da área de exploração para fins incomparáveis com o objecto deste contrato.

Cláusula 7ª
Instalações e Infra-estruturas

1. O operador deverá apresentar no início de cada campanha, esboço detalhado da área de corte, o seu acampamento e junta principal da madeira bem localizados e definidos.
2. O operador deverá afixar tabuletas em locais definidos de acordo com o Plano de Maneio da área, com os seguintes dizeres:

Nome do Operador
Extensão e limites da área
Nº Contrato de Exploração florestal
Data da autorização
Término

111

3. O operador tem direito de usufruir, na área de exploração, dos terrenos necessários para a realização dos trabalhos de exploração florestal, nomeadamente a implantação das respectivas instalações industriais, sociais e de gestão, sujeitos ao pedido do Direito de Uso e Aproveitamento da Terra, nos termos da Legislação respectiva.

Cláusula 8ª

Comunidades, autoridades locais e terceiros

1. O operador deverá:
 - a) Permitir o acesso das comunidades locais, dentro da área de exploração, aos recursos naturais de que estas careçam para o consumo próprio, nos termos da lei;
 - b) Permitir a livre circulação de pessoas e bens, dentro da área de exploração;
 - c) Dar preferência as comunidades locais, no recrutamento de mão-de-obra;
 - d) Em consenso com as comunidades locais e na presença das Autoridades Administrativas locais preencher anualmente em formulário próprio os benefícios para as comunidades locais e submeter a entidade licenciadora;
 - e) Respeitar os direitos de terceiros existentes na área, quer de pessoas singulares, agentes económicos privados desde que não colidam com o objecto deste contrato;
 - f) Ao abrigo do contrato assinado com o concedente, a operadora deverá cumprir com os acordos consensualmente estabelecidos com as comunidades locais nos termos da sua participação na partilha de benefícios.
2. O operador tem o privilégio de beneficiar das comunidades locais:
 - a) Da participação na vigilância, sobre a exploração sustentável dos recursos através de fiscais comunitários.
 - b) Do combate as queimadas descontroladas e quaisquer outras formas de perturbações e degradação da floresta.
3. O operador terá as garantias das autoridades locais:
 - a) Do benefício da integração nos planos estratégicos dos programas de desenvolvimento local.

Virel

- b) Do encaminhamento dos 20% atribuídos às comunidades pela exploração florestal dos recursos.

Cláusula 9ª
Início da exploração

1. A exploração florestal só terá início após a verificação pelo concedente, das seguintes condições:
 - a) Verificação dos comprovativos da capacidade técnica para a implementação do Plano de Manejo, dos meios de abate, arraste e de transporte;
 - b) A determinação do quantitativo e qualitativo das espécies objecto de exploração;
 - c) O pagamento da taxa de exploração de acordo com o volume de corte anual constante do Plano de Manejo aprovado pelo sector;
 - d) A emissão de licença anual de exploração;
 - e) Garantia dos mecanismos de controlo e fiscalização das actividades da área, objecto do presente contrato.
2. A falta de cumprimento de qualquer dos requisitos mencionados no número anterior implicará a não emissão da licença anual, sem prejuízo do pagamento da taxa anual de ocupação da área previsto no artigo 1 do Decreto 30/2012, de 01 de Agosto.

Cláusula 10ª
Publicação

1. O operador deverá, no prazo de 30 (trinta dias) contados da data da assinatura do presente contrato, proceder a sua publicação no Boletim da República.
2. Após a publicação do contrato no Boletim da República, o operador deve emitir uma comunicação a DPA/SPFFB, anexando uma cópia do Boletim da República.

Cláusula 11ª
Fiscalização

1. A área da exploração está sujeita a fiscalização relativamente a todos os aspectos da competência do concedente, nomeadamente o cumprimento da Lei e do contrato.

Handwritten signature

2. O operador deverá prestar toda a informação e facultar todos os documentos que lhes forem solicitados, bem como permitir o livre acesso dos funcionários e fiscais do Estado e comunitários na área de exploração.

Cláusula 12ª
Informação

1. O operador deverá enviar mensalmente nos prazos definidos pelos Serviços Provinciais de Florestas e Fauna Bravia os mapas resumo das operações, dos quais, deverão conter obrigatoriamente informação estatística completa sobre a produção, comercialização bem como transformação e stock.
2. A falta da informação incorrerá a tomada de medidas previstas na Lei.

Cláusula 13ª
Responsabilidade

O operador é responsável pelas transgressões florestais e pelos actos contrários as disposições deste contrato, provocados pelos seus trabalhadores ou pessoal sob sua responsabilidade.

Cláusula 14ª
Repovoamento florestal

1. Se da actividade de exploração florestal resultar a degradação dos recursos, o operador é obrigado a proceder ao repovoamento florestal quer das espécies nativas ou exóticas.
2. O operador deverá fazer a reposição das espécies conforme normas técnicas.

Cláusula 15ª
Renovação

1. O operador deverá requerer doze meses antes do fim do presente contrato, que lhe seja renovado, indicando o período proposto demonstrando que continua exercer a actividade objecto da exploração, preenchendo os demais requisitos postulados no artigo 22 do Decreto 12/2002, de 6 de Junho, que aprova o Regulamento da Lei de Florestas e Fauna Bravia;
2. O Concedente poderá renovar o contrato de exploração por determinado período fixando os termos e condições que entender apropriados ou recusar a

✓/✓/✓

sua renovação, num e outro caso deverá comunicar o respectivo despacho ao requerente, até noventa dias antes do término da exploração.

Cláusula 16ª
Transmissão

1. A transmissão do contrato florestal carece de autorização do Governador Provincial, analisada a idoneidade do transmissionário, observando o disposto no artigo 23 do Decreto 12/2002, de 6 de Junho, que aprova o Regulamento da Lei de Florestas e Fauna Bravia;
2. O transmissionário mantém os direitos e obrigações do transmitente.

Cláusula 17ª
Rescisão

1. O concedente poderá rescindir o contrato quando se verificar:
 - a) Transmissão do contrato sem prévia autorização;
 - b) Falência ou insolvência do operador;
 - c) O não pagamento da taxa anual dentro de 1 ano;
 - d) Notória insuficiência para as operações silviculturais, exploração e de preservação previstas no Plano de Maneio;
 - e) Início da exploração sem o cumprimento do clausulado;
 - f) Paralisação da exploração por período superior a 1 (um) ano;
2. O operador poderá solicitar a rescisão do contrato se:
 - a) Por motivo de força maior, se tornar impossível a continuação das actividades;
 - b) Por motivo que tornem inviável económica e financeiramente a continuação da actividade.

6/1A

Cláusula 18ª
Alterações

O presente contrato poderá ser objecto de alteração, total ou parcial, especificadas as cláusulas alteradas e a sua redacção, as quais constarão dum Adendo, escrita e assinada por ambas partes.

Cláusula 19ª
Segurança laboral

O operador obriga-se a respeitar a legislação laboral e a segurança social aplicável aos seus trabalhadores.

Cláusula 20ª
Resolução de conflitos

As partes são obrigadas a notificar uma a outra por escrito, a existência de qualquer diferendo resultante da aplicação deste contrato.

Cláusula 21ª
Omissões

As questões suscitadas sobre interpretações e execução das cláusulas deste contrato, bem como quaisquer casos omissos, serão resolvidas com base na interpretação da legislação aplicável.

Cláusula 22ª
Legislação aplicável

1. Além do que dispõe este contrato, as partes cumprirão todas as disposições que lhes forem aplicáveis pela Legislação Florestal e Faunística e demais legislação em vigor no País;
2. Qualquer diferendo que surja entre as partes no decurso da execução do presente contrato será sempre que possível resolvido por negociação entre as partes.

1/1

Cláusula 23ª
Disposição final

As partes declaram conhecer o sentido das cláusulas do presente contrato e comprometem-se a cumpri-las na íntegra.

ASSIM COMO DIZEM E RECIPROCAMENTE ACEITAM NAS SUAS REFERIDAS QUALIDADES, VÃO ASSINAR O PRESENTE CONTRATO EM TRIPLICADO, TODOS DO MESMO TEOR E VALOR PROBATÓRIO, DE ENTRE VÁRIAS TESTEMUNHAS, O DIRECTOR PROVINCIAL E O CHEFE DOS SERVIÇOS PROVINCIAIS DE FLORESTAS E FAUNA BRAVIA.

Quelimane, aos 16 / 10 / 2014

O GOVERNADOR DA PROVÍNCIA



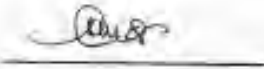
JOAQUIM VERÍSSIMO

O OPERADOR

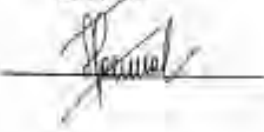


AS TESTEMUNHAS:


DPA



SPFFBZ



付属資料 4.5 地域コミュニティへのコンサルテーション議事録 (様式)



Anexo 2

REPÚBLICA DE MOÇAMBIQUE
 Governo da Província de _____

Direcção Provincial da Terra, Ambiente e Desenvolvimento Rural
 Serviços Provinciais de Florestas e Fauna Bravia
 Província de _____

Acta de Consulta às Comunidades Locais

Aos _____ dias do mês de _____ de _____ teve lugar uma reunião de consulta à comunidade de _____, em _____, em virtude de ter sido requerida na sua área, a exploração de produtos florestais em regime: Concessão Florestal Licença Simples

(Nome do requerente) _____
 numa área de _____ ha na Localidade de _____
 Posto Administrativo de _____
 Distrito de _____ para fins de _____

O encontro foi dirigido pelo Sr.(a) _____ e contou com o envolvimento de (n.º) _____ técnicos de SPFFB, bem como de (n.º) _____ membros da comunidade de _____

Os participantes da reunião, pronunciaram-se a cerca do pedido de ocupação do terreno em causa, sendo de destacar as seguintes intervenções:

1.

2. _____

3. _____

地域コミュニティ名

申請者(事業者)の名前と住所

コンサルテーション参加者からの意見

Por fim foi acordado que:

No fim do encontro foi elaborada a presente acta de consulta que foi lida em português e traduzida em _____ (língua de influência local) que vai ser assinada pelos representantes da comunidade, operador e representantes do Estado.

Assinaturas legíveis	Função na Comunidade
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

署名

コミュニティにおける役割

Assinatura do operador

事業者の署名

O parecer dos Serviços Distritais de Actividades Económicas (SDAE)

郡社会経済活動サービス(SDAE)の所見

O Parecer do Administrador

地域の行政官の所見

O Administrador do Distrito

.....de.....de 20.....

出典：Diploma Ministerial nr. 16/2017

付属資料 4.6 丸太・木材の輸送許可証（Guia de Trânsito de Produtos Florestais）（様式）

Anexo 7
Código de Segurança

REPUBLICA DE MOÇAMBIQUE
Governo da Província de _____
Direcção Provincial da Terra Ambiente e Desenvolvimento Rural
Serviços Provinciais de Florestas e Fauna Bravia

Guia de Trânsito de Produtos Florestais

Livro N.º _____ Guia N.º _____

Vai ser transportado para _____
pelo proprietário da licença de exploração florestal n.º _____/_____/20_____, passada pelos Serviços Provinciais de Florestas e Fauna Bravia de _____ em _____ de _____/_____/20_____, e cuja validade termina em _____/_____/20_____, para transportar por(??) _____ de _____ registro n.º _____ de _____ para _____ os seguintes produtos florestais:

Quantidade	Produto	Espécie	Volume	Unidade de Medida
Total				

consignados a (??) _____
Esta guia é válida até _____ de _____ de 20_____.
Observações: _____
aos _____ de _____ de 2015

O Beneficiário _____ O Chefe dos Serviços _____

Nome da empresa/fornecedor _____
Caminhão, barco, navio, avião, etc. _____
Venda, transformação, exportação, etc. _____

Nota: O titular - Assina o produto desde o local de exploração até o destino final.
Duplicado - entregue nos Serviços Provinciais de Florestas no dia de cada mês, acompanhado o sistema de prestação de informação estatísticas.
Triplificado - entregue no Posto de Fiscalização mais próximo da zona de origem durante o trânsito do produto.
Quadruplicado - entregue no último Posto de Fiscalização da Província de origem do produto.
Quintuplicado - entregue no último Posto de Fiscalização da Província de destino do produto.
Sextuplicado - Permanece no livro que é entregue pelo operador no fim da operação sempre que solicitar um novo livro de guias.

出典：Diploma Ministerial nr. 16/2017

付属資料 4.8 木材加工製品輸出の年間計画書と承認書（様式）

（年間木材輸出計画書様式）

REPUBLICA DE MOÇAMBIQUE
MINISTÉRIO DA TERRA, AMBIENTE E DESENVOLVIMENTO RURAL

FORMULÁRIO DE SUBMISSÃO DO PLANO DE EXPORTAÇÃO DE MADEIRA PROCESSADA DE ESPÉCIES NATIVAS

PROCESSO N.º []

IDENTIFICAÇÃO

Nome da empresa []

Concessionária Industrial

Cartão de exportador nº [] Alvará [] NUIT []

LOCALIZAÇÃO

Provincia [] Distrito [] P. Adm. []

Localidade [] Rua/AV []

Número [] CP [] E-mail []

Tel [] Fax [] Cel []

DADOS PESSOAIS DO REPRESENTANTE

Data de Nascimento [] M. BU Passaporte/DRE [] Emissão [] Validade []

Local de emissão [] Nacionalidade [] Profissão [] Estado civil []

Residência (Rua/AV Local/Aldeia/Distrito/Provincia) []

Quartelão [] CP []

E-mail [] Fax [] Cel []

PLANO ANUAL DE EXPORTAÇÃO

Tipo de Produto	Quantidade (m³/m²)
Pranchas	
Tábuas	
Travessas	
Barrotes	
Régua de Parquet	
Ripa	
Outros	

Principais mercados []

コンセッション事業者または加工事業者

納税者番号

事業者名

外国貿易事業者票番号

代表者の個人情報

事業者情報(住所、連絡先等)

製品タイプ毎の輸出予定量(m³ 又は m²)

製品タイプ: Prancha(厚板)、Tábua(ボード)、Travessa(桁)、Barrote(梁)、Régua de parquet(パーケット)、Ripa(へぎ板)、Outras(その他)

Principais mercados	
Pontos de Saída	
Outras informações julgadas relevantes	
Declaro que os dados fornecidos são verdadeiros e comprometo-me a seguir as normas estabelecidas na Lei e Regulamento de Florestas e Fauna Bravia.	
O requerente	Recebido e conferido
(Assinatura)	(Nome do Funcionário)
DOCUMENTOS NECESSÁRIOS	
<input type="checkbox"/> Fotocópia do R.D.M.E. (passaporte)	<input type="checkbox"/> Comprovativo de Preenchimento da Informação estatística mensal
<input type="checkbox"/> Copia do certificado de exportação	<input type="checkbox"/> Copia dos Estratos da Empresa
<input type="checkbox"/> Copia actualizada de certidão de quitação	
<input type="checkbox"/> Copia actualizada de Cartão de Segurança Social	


主要な輸出先

輸出港

(年間木材輸出計画書承認様式)

12 DE JUNHO DE 2018 779

Anexo 2



REPÚBLICA DE MOÇAMBIQUE
MINISTÉRIO DA TERRA, AMBIENTE E DESENVOLVIMENTO RURAL

AUTORIZAÇÃO DO PLANO ANUAL DE EXPORTAÇÃO
No ____/MIT/DER/20__

Nos termos da alínea c) do artigo 6 do Decreto 42/2017, Regulamento da Taxa de Exportação de Madeira Processada, autorizada o Concessionário/Industrial: _____, a exportar madeira serrada de espécies nativas, de acordo com o plano de exportação que se segue:

Plano de exportação os produtos florestais abaixo indicados:

Tipo de Produtos	Quantidade (m³/m²)
Pranchas	
Tábuas	
Travessas	
Barrotes	
Réguas de Parquet	
Ripas	
Outros	

Período de validade da autorização: 1 de Janeiro a 31 de Dezembro de 20__

Maputo, ____/____/20__

O Ministro

承認番号

事業者名

輸出承認の有効期間(1年間)

承認された輸出計画:
輸出する製品タイプと
量(m³ 又は m²)

出典：Diploma Ministerial nr. 54/2018

付属資料 4.9 輸出事業者の証明書 (Certificado de Exportador)

A 0000146

REPÚBLICA DE MOÇAMBIQUE
MINISTÉRIO DA TERRA, AMBIENTE E DESENVOLVIMENTO RURAL

事業者名

輸出事業者証明書番号

CERTIFICADO DE EXPORTADOR Nº [REDACTED] /MITADER/20 19

Nos termos da alínea d) do Artigo 6 do Decreto 42/2017, de 10 de Agosto do Regulamento da Taxa de Exportação de Madeira Processada, é certificado o Concessionário / Industrial: [REDACTED]

a exportar madeira processada de espécies nativas, de acordo com o plano anual de exportação que se segue:

TIPO DE PRODUTOS	QUANTIDADE (m ³ /m ²)
Pranchas	15000.00 m ³
Tábuas	5000.00 m ³
Travessas	2000.00 m ³
Barrotes	5000.00 m ³
Réguas de Parquet	5000.00 m ³
Ripas	0.00 m ³
Outras	5000.00 m ³

Este Certificado é válido até 31 de Dezembro de 20 19

Maputo, 29 / 1 /20 19

O Ministro
[Signature]
(Celso Ismael Correia)

年間輸出計画書に基づき承認された木材製品タイプ毎の輸出量

証明書の有効期限 (1年間)

Empresa: Estrada Nacional nº1 - Distrito de Maringué
Data de emissão: 20/10/2017
Validade: 20/10/2022

付属資料 4.10 州森林・野生生物サービス (SPFFB) による木材の輸出許可承認依頼の通知と輸出木材の検査報告書

(ソファラ州 SPFFB より DINAF に提出された輸出許可承認依頼の通知)



(仮訳)

ソファラ州の土地環境・農村開発局は、SPFFB を通じ、木材輸出の要請を国家森林総局 (DINAF) に提出します。

本要請に添付されている事業者の木材輸出の申請は、SPFFB に登録されています。検査チームが実施した検査の結果、事業者が申告した別紙 (検査報告書) の数量が、法律で推奨されている加工基準を満たしていることが確認されました。同事業者は、加工施設を有し、納税者番号と輸出事業者証明書を有します。したがって、我々は申請者の申請を支持し、中国への木材の輸出認可の要請を DINAF に提出します。



Tabela 1: Empresa que solicita exportação

###	Nome da Empresa	Tipo de produto	Espécie	Quantidade (peças)	Volume (m³)
01		Tábuas	Chanate	3.820	22,000
		Sub Total			22,000
		Réguas de Parquet	Chanate	5.112	31,000
		Sub Total			31,000
		Peças Mobiliárias	Chanate	47.249	257,000
		Sub Total			257,000
		Ripas	Chanate	18.012	95,742
		Sub Total			95,742
		Barrotes	Chanate	4.125	25,000
		Sub Total			25,000
		Total			430,742



輸出申請の行われた木材製品の情報：表左 2 列目から事業者名、製品タイプ、樹種（一般名）、数、量。

(SPFFB による輸出木材の検査報告書)


 REPÚBLICA DE MOÇAMBIQUE
 GOVERNO DA PROVÍNCIA DE SOFALA
 DIRECÇÃO PROVINCIAL DE TERRA, AMBIENTE E DESENVOLVIMENTO RURAL
 SERVIÇOS PROVINCIAIS DE FLORESTAS E FAUNA BRAVIA

Relatório de Inspeção de Madeira para Exportação

Nos dia(s) 17 de JULHO de 2019, foi realizada por

1. SPFFB
 2. SPFFB
 3. SPFFB
 4. SPFFB
 5. _____
 6. _____
 7. _____
 8. _____
 9. _____

fiscal (is) dos SPFFB de Sofala, para empresa _____ com NUIT _____ a inspeção de madeira _____ a ser exportada de Moçambique para CHINA, através do Porto de BEIRA.
 Concluída a inspeção ao produto, foi produzida a seguinte informação:

Tipo de produto	Espécie	Quantidade	Volume (m ³)	Posição pautal	Situação
TABUAS	CHANATE	3.820	22,000	44079900	
REGUAS PARA	CHANATE	5.112	31,000	44187900	
PECAS MOBILIA	CHANATE	47.249	257,000	44187900	
RIPAS	CHANATE	18.012	95,742	44187900	
BARROTES	CHANATE	4.125	25,000	44072900	

Observações: O Produto Florestal inspecionado encontra-se na empresa madeireira Honra Super localizado na zona da Cerâmica Distrito da Beira nas quantidades acima declaradas. A empresa possui unidade de processamento de madeira, Volume das Guias de Transit e 420,743 m³

O Remetente: 17/07/2019

O Chefe de Equipa: Jose Mico
17/07/2019

Visto
 O Chefe da Fiscalização: [Signature]
17/07/2019

Em anexo: 01 Guia de Transit e 01 Guia de exportação

検査された製品情報:
 製品タイプ、樹種一般
 名、数、量、輸出品目コ
 ード

検査官の所見

(輸出事業者から SPFFB に提出された木材検査依頼書)



(仮訳)

モザンビーク国籍の…が代表するコンセッション事業者または加工事業者…… (輸出事業者証明書番号…) は、ここにテテ州から中国に船便で輸出する加工木材 430,742m³ の検査を許可することを要求します。

付属資料 4.11 輸出許可証（様式）



REPÚBLICA DE MOÇAMBIQUE
MINISTÉRIO DA AGRICULTURA
 DIRECÇÃO PROVINCIAL DE AGRICULTURA DE _____
 SERVIÇOS PROVINCIAIS DE FLORESTAS E FAUNA BRAVIA

事業者名

輸出許可番号

AUTORIZAÇÃO N.º _____/SPFFB/20_____

Nos termos do artigo 12 do Regulamento da Lei de Florestas e Fauna Bravia, aprovado pelo Decreto n.º 12/2002, de 6 de Junho, está devidamente autorizada a empresa _____, com o NUIT _____ a exportar de Moçambique para _____, através de (a) _____, os produtos florestais abaixo indicados:

Tipo de Produtos	Espécie	Quantidades		Posição pautal
		N.º de Peças	Volume (m³)	

Esta autorização é válida até _____ de _____ de 20_____

Local de emissão, data _____

O Chefe dos Serviços _____

(a) Local de saída

納税者番号

輸出が許可された木材製品の情報(製品タイプ、樹種、数、量、品目コード)

Edição Electrónica © Flanders Box Ltd. - todos os direitos reservados

出典：Decreto nr. 21/2011

付属資料 4.12 州森林・野生生物サービス (SPFFB) による輸出貨物に関する検査報告書

(仮訳)
 SPFFB は、法令第 42 条第 6 項(f)の
 規定に基づき、上記の会社の輸出許
 可申請書を提出し、21,533 m³に相当
 する 1585 本の Umbila の製材を輸
 出することを許可する。

件名:(事業者名)の木材の輸出許可

N/Ref.: 67/SPFFB/2019

Assunto: Autorização para exportação de madeira da empresa [REDACTED]

Visto ___/___/2018
 Director Provincial

Francisco Sambo
 (Técnico Superior N1)



REPÚBLICA DE MOÇAMBIQUE

GOVERNO DA PROVÍNCIA DE NAMPULA
 DIRECÇÃO PROVINCIAL DE TERRA AMBIENTE E DESENVOLVIMENTO RURAL
 SERVIÇOS PROVINCIAIS DE FLORESTA E FAUNA BRAVIA

Exmo Senhor:
 Director Nacional de Floresta
 Maputo

Data: 26 de Maio de 2018

Para os devidos efeitos, julgados convenientes os **Serviços Provinciais de Florestas e Fauna Bravia da Direcção Provincial de Terra, Ambiente e Desenvolvimento Rural de Nampula**, em conformidade com o disposto no nº 6 alinea f do decreto numero 42, submetem o pedido para autorização da empresa acima para exportar 1585 tabuas das espécies umbila correspondente ao volume de 21.533m³, vide a tabela 1.

Tabela1: Quantidades e volumes requeridos

#	Qtd	Tipo de produto	Espécie	Volume (m ³)	Observação
1	1585	Tabuas	Umbila	21.533	
Total	1585			21.533	

製品数
 製品タイプ
 一般樹種名
 量

Sobre o pedido, os SPFFB realizaram a devida vistoria e inspeção conjunta. Do trabalho de inspeção conjunta envolvendo as alfândegas, a fiscalização florestal e agentes da PRM do Departamento de Ambiente indica que deve ser autorizada a exportação de **1585** tabuas serradas de madeira de umbila correspondentes ao volume de **21.533m³**, vide a tabela 2.

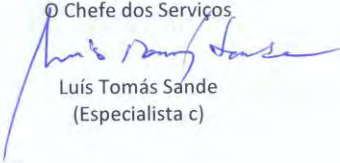
Tabela 2: Quantidades e volume inspeccionado

#	Qty	Tipo de produto	Espécie	Volume (m ³)	Observação
1	1585	Tabuas	Umbila	21.533	
Total	1585			21.533	

Sendo assim, os SPFFB de Nampula aguardam a devida autorização.

Sem mais de momentos, os melhores cumprimentos.

☉ Chefe dos Serviços



Luís Tomás Sande
(Especialista c)

(仮訳)

本申請を受けて、SPFFBは適切な共同調査・検査を実施した。税関と環境局が参加した合同検査では、21.533m³の量に相当する1585本の製材の輸出が許可されるべきであることが示された(表2参照)。



REPÚBLICA DE MOÇAMBIQUE

GOVERNO DA PROVINCIA DE NAMPULA
DIRECÇÃO PROVINCIAL DE TERRA AMBIENTE E DESENVOLVIMENTO RURAL
SERVIÇOS PROVINCIAIS DE FLORESTAS

À:
As Alfandegas de Nacala Porto

Nacala

N/Ref: 12/SPFFB/2019

Data: 07 de Maio de 2019

Assunto: **Inspeção da Madeira**

件名: 木材の検査

USAR SOMENTE ORIGINAL

Vimos por este meio informar a V. Excelência que a empresa [REDACTED] esta autorizada a exportar a madeira através do Certificado de exportação número [REDACTED] emitido por Sua Excelência o Ministro de Terra, Ambiente e Desenvolvimento Rural, vide a cópia em anexo.

Sendo assim, os SPFFB de Nampula solicitam a V. Excelência para Inspeccionar 1585 tabuas de madeira da espécie Umbila corre a 21.533m³.

事業者名

輸出事業者の証明書番号

(仮訳)

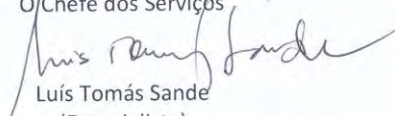
私たちはここに、当事業者が、土地・環境・農村開発大臣の発行した輸出事業者証明書によって木材の輸出を許可されていることをお知らせします。

したがって、Nampula 州の SPFFB は、21,533 m³ に相当する 1,585 本の Umbila 製材を検査するように閣下に要請します。

A credencial para exportação será emitida depois do relatório da inspeção.
Tem o prazo de 10 dias. A mesma credencial será acompanhada com uma
autorização da Direcção Nacional de Florestas.

Este documento não serve para o transporte da madeira para qualquer
ponto incluindo Nacala, só apenas autoriza a inspeção da madeira.


O/Chefe dos Serviços



Luís Tomás Sande
(Especialista)

EXMO SENHOR CHEFE DOS SERVICOS DE FLORESTA E FAUNA BRAVIA DA
DIRECÇÃO PROVINCIAL DE TERRA AMBIENTE E DESENVOLVIMENTO RURAL

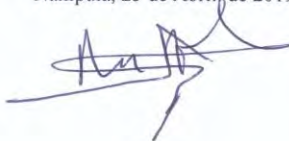
Nampula

 sociedade constituída e registada em Moçambique sob número 100231646, com sede na cidade da Nampula, Estrada Nacional Nro 1, Zona de Namigonha, Bairro Marrere, Posto Administrativo de Natikiri, vem por meio desta, solicitar a V. Excia a autorização de transporte, de produtos florestais de Nampula a Nacala e, Empacotamento e Exportação de produtos Florestas, para o destino Port- Louis (Mauricias), segundo especificações seguintes:

Produto	Espécie	Quantidade	Volume (m ³)	No de Guias
Tabuas	<i>Umbila</i>	1585	21.533	04167
Total		1585	21.533	

Pelo que pede deferimento,

Nampula, 23 de Abril, de 2019



S.P.F.F. BRAVIA
ENTRADA Nº 292
DATA: 23/4/19
FUNCIONÁRIO
Dussan

(製材が積まれたコンテナの検査結果報告書)

輸出のための木材検査報告書

REPÚBLICA DE MOÇAMBIQUE
PROVÍNCIA DE NAMPULA
GOVERNO DO DISTRITO DE NACALA
SERVIÇO DISTRIAL DE ACTIVIDADES ECONÓMICAS
SECTOR DE FLORESTAS E FAUNA BRAVIA

PROVÍNCIA DE NAMPULA
Visto
O Director
Taddeu M. Vintim Mandozwe
Técnico Superior Nº 108/MITADER/2019

検査官名

事業者名

RELATÓRIO DE INSPECÇÃO DE MADEIRA PARA EXPORTAÇÃO

Nos dias 16 a 17 de Maio de 2019, foi realizado por [redacted] e [redacted] dois trabalhos fiscais de florestas e fauna bravia do SDAE de Nacala, para a empresa [redacted], com Certificado do Exportador [redacted] de 29 de Janeiro, NUIT [redacted], com domicilio no Bairro de Muhala Expansão Cidade de Nampula. A inspecção de 01x40 Contentor de madeira serrada da espécie de Umbila, de acordo com autorização [redacted] de Maio, que vai ser exportada de Moçambique para Porto Luis-Mauricias, através do Porto de Nacala. Concluida a inspecção, foi produzida a seguinte informação.

Nº de Ordem	Tipo de Poduto	Espécie	Classe	Quantidade	Volume (m ³)	Posição Pautal
01	Tabua	Umbila	1ª	1585	21,533	4407
Total	Tabua	Umbila	1ª	1585	21,533	4407

Observação:
Trata-se de madeira em Tabua, cuja espécie é Umbila, um total de 01x40 contentor.

[redacted]

輸出事業者の証明書番号

Nacala Porto, aos 17 de Maio de 2019
Chefe de Fiscalização
Anselmo Pedro
(Técnico)

輸出許可番号

[redacted] Certificado de Exportador Nº 108/MITADER/2019 de 29/01/Aut.12/Tab/Ub/1C

(製材が積まれたコンテナを検査後に封印した旨を伝える報告書)

木材のパッキング支援に関する報告書

検査官名



RELATÓRIO DE ASSISTÊNCIA AO EMPACOTAMENTO DE MADEIRA

Nos dias 16 a 17 de Maio de 2019, foi realizado por [redacted] e, ambos fiscais de florestas e fauna bravia do SDAE de Nacala e, por Pedro Wate, Manuel Magueza da Repartição de Investigação, Faustino Gotine da Brigada Reacção Táctica, ambos das Alfandegas de Moçambique-Nacala-Porto e pela Srª Madalena José António - da Policia de Protecção de Recursos Naturais e Meio Ambiente (PPRNMA)-Nacala, para a empresa [redacted] com Certificado do Exportador Nº [redacted] e 29 de Janeiro, NUIT [redacted] com domicilio no Bairro da Expansão na Cidade de Nampula. A inspeção de 01x40 Contendor de madeira serrada da espécie de Umbila, de acordo com autorização [redacted] de Maio, que vai ser exportada de Moçambique para Porto Luis-Mauricias, através do Porto de Nacala. Concluida a assistência do contendor, foi devidamente selado contendo a seguinte informação:

Nº de Ordem	Refº do Contendor	Nº do selo	Tipo de produto	Espécie	Quantidade	Volume (m³)	Posição Pautal
01	GLDU0600080	EU15942534	Tabua	Umbila	1585	21,533	4407
Total	-----	-----	Tabua	Umbila	1585	21,533	4407

輸出事業者の証明書番号


Observação:

O trabalho foi feito na terminal especial de exportação, na presença da equipa multi-sectorial, composta por 2 (dois) técnicos de florestas e fauna bravia de Nacala-Porto, 1 (Um) membro da PPRNMA, de Nacala-Porto e também 03 agentes das alfândegas delegação de Nacala. Sendo 1 da BRT, 1 da DAI e 1 da TEEN. De referir que durante o trabalho, não tivemos constrangimentos.

OS AGENTES

INSTITUIÇÕES

 17 de Maio de 2019 Floresta e Fauna Bravia
 17 de Maio de 2019 Alfandegas
 17 de Maio de 2019 PRM
 17 de Maio de 2019 BRT
 17 de Maio de 2019 DAI



輸出許可番号

コンテナシール番号

コンテナ参照番号



付属資料 4.13 木材輸出が承認された事業者のリスト (2019 年)


REPÚBLICA DE MOÇAMBIQUE
AUTORIDADE TRIBUTÁRIA DE MOÇAMBIQUE
DIRECÇÃO GERAL DAS ALFÂNDEGAS

CIRCULAR Nº 02/AT/DGA/413/2019

件名:承認された在来種を使った木材の輸出事業者

ASSUNTO: Operadores Certificados a Exportar Madeira de Espécies Nativas

Para conhecimento geral de todos os Funcionários destes Serviços, Despachantes Aduaneiros, Agências Económicas, Interact e demais interessados, e em cumprimento do Decreto 42/2017, de 10 de Agosto, que aprova o Regulamento da Taxa de Exportação de Madeira Processada de Espécies Nativas, por determinação do Ministério da Terra, Ambiente e Desenvolvimento Rural – MITADER, através das Notas n.º 470/MITADER/DINAF/430/2019, de 15 de Março, a Direcção Geral das Alfândegas comunica que estão certificados para exportar madeira correctamente esquadriada de espécies nativas, para a campanha de 2019, os Operadores constantes das listas em anexo, em adição às listas anteriormente publicadas na Circular n.º 07/AT/DGA/413/2019 e 08/AT/DGA/413/2019.

Direcção Geral das Alfândegas, aos 04 de Abril de 2019


Aly Dauto
Comissário Geral Aduaneiro Principal



Direcção Geral das Alfândegas - Rua de Travenca, Lote 17/18, 4.º Andar, Vila Galé (1300)88 - Maputo



REPÚBLICA DE MOÇAMBIQUE
AUTORIDADE TRIBUTÁRIA DE MOÇAMBIQUE
DIRECÇÃO GERAL DAS ALFÂNDEGAS

Atualização da lista dos Operadores Exportadores de Madeira Certificados

Nº de Ord	Nome do Exportador	Nº do Certificado	NUIT
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

承認された輸出事業者名

証明書番号

納税者番号

